Kodak

PIXPRO S-1

Compact System Camera

取扱説明書

BC

1 警告

適合宣言

責任団体： JK Imaging Ltd.

住所： 1411 W. 190th Street, Suite 550, Gardena, CA 90248, USA

デジタルカメラに関する情報の提供： www.kodakpixpro.com

著作権について：

- 本製品で撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権の侵害よって生じたトラブルや損害などについては、一切その責任を負いません。

免責について：

- 本製品の取扱説明書に従った取り扱いをしなかったことに起因して生じた損害については一切その責任を負いません。
- 万一、本製品及びカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本製品の使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害については一切責任を負いません。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本マニュアルについて

KODAK PIXPRO レンズ交換式デジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- JK Imaging Ltd. は本マニュアルの著作権を保有します。本マニュアルは、一部でも再生したり、受信システムで転送、転写または保管、あるいは、いかなる形態または方法によっても、JK Imaging Ltd. の書面による事前承認なしに、言語やコンピュータ言語に翻訳することはできません。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、KODAK PIXPRO レンズ交換式デジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。JK Imaging Ltd.では、内容に関して、改良のため、将来予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- 情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルは次の記号が使用されています。

  知っていると役に立つ情報を示します。

  デジタルカメラを操作している間に取るべき注意事項を示します。

- カメラの操作を紹介するとき、理解しやすくしていただくために、次の記号が文章に表示されています。

  「アイテム内容」：液晶モニターに表示されるアイテム内容は「 」記号で表示されています。

2 安全上の注意

カメラに関するご注意

- カメラを投げたり、落としたり、叩いたりしないでください。故障の原因となります。
- 分解や改造しない。感電したり、けがをするおそれがあります。
- 水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさない(防水カメラを除く)。火災、感電の原因となります。
- カメラを長時間使用しないときは、電池を取り外し、ほこりや湿気の少ない清潔な乾燥した場所に保管してください。
- 高温（40℃以上）でのご使用、直射日光が当たる場所での保管はしないでください。
- 強い電磁波を発生させる装置の区域（電子レンジ、テレビ、磁石、変圧器など）で、カメラのご使用、保管はしないでください。
- カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切って、電池とメモリーカードを取り出して、販売店あるいはサービスステーションにご相談ください。
- 寒い戸外（低温環境）から暖かい室内（高温環境）に入るなど急激に温度が変わると、カメラ内部に結露が生じることがあります。カメラの電源を入れる前にしばらくお待ちになることをお勧めします。
- 電池とメモリーカードを取り出すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- レンズを取り外すと、イメージセンサー（撮像素子）が見えます。損傷の恐れがありますので、イメージセンサーには触らないでください。
- 手をカメラボディのレンズマウント内に入れないでくさい。イメージセンサーは精密な電子部品です。故障あるいは破損させる原因となります。
- カメラの清掃に、研磨剤入り洗剤、アルコールベース、または溶剤ベースの洗浄剤を使用しないでください。
- カメラボディとレンズマウントを、定期的に専用のレンズ拭き取り布でやさしく拭いてください。

■ 長期間使用しないときは、電池とカードを取り外して、涼しい清潔な場所に保管してください。

■ お客様の取り扱い不備により、静止画や動画を再生できない場合は、補償は致しません。ご了承ください。

電池に関するご注意

■ 指定以外の電池は使用しないでください。

■ 専用の充電器以外を使用しない。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

■ 電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけてください。

■ 電池の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

■ 電池に強い衝撃を与えたり、投げたり、鋭利のもので電池を傷つけたりしない。破裂、液漏れの原因となります。

■ 電池と金属製のネックレスやヘアピン、コインを一緒に持ち運んだり、保管しない。ショート、発熱、火傷やけがの原因となります。

■ 電池をショート、分解しない。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

■ 水につけたり、落としたり、濡れた手で掴んだり、端子部を濡らしたりしないでください。液漏れ、発熱、感電の原因となります。

■ 電池を火の中に投下したり、加熱しない。液漏れ、破裂、火災の原因となります。

■ 高温（40℃以上）や直射日光が当たる場所で、電池の保管はしないでください。

■ 充電中に電池が過熱したときは、電源を切り電池を取り出してください。

■ 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておきます。液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。

■ 電池は幼児の手の届くところに放置、保管しないでください。舐めたり、口に入れたりすると非常に危険です。

■ 低温下で使用した場合は、電池性能が大幅に低下します。

■ プラスとマイナスの標示にしたがって、電池を正しく装填してください。電池を無理に電池室に押し込まないでください。

メモリーカードに関するご注意

- 信頼できるメーカーのメモリーカードをご購入ください。
- メモリーカードを新しく購入、他のカメラで使用、パソコンで初期化等した場合は、ご使用の前に、お使いのカメラで、メモリーカードを必ずフォーマットしてください。
- メモリーカードに強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。破損させる原因となります。
- メモリーカードを分解や改造しないでください。
- 水につけたり、濡れた手で掴んだりして、メモリーカードを濡らさないでください。破損させる原因となります。
- メモリーカードの取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。もしオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因になります。
- メモリーカードに保存されている画像を直接編集しないでください。編集するときは、画像をパソコンへコピーしてから行ってください。
- 長期間使用しないときは、メモリーカード内の画像は、パソコンなどに保存してから、カードを取り外して、清潔な乾燥した涼しい場所に保管してください。
- パソコンでメモリーカードのディレクトリ名、またはファイル名を変更または消去しないでください。カメラでメモリーカードが使用できなくなる原因となります。
- カメラを使用して撮影した静止画、動画は、メモリーカードに自動的に作成されたフォルダーに保存されます。他の機器を使用して撮影した静止画、動画をこのフォルダーに保存しないでください。再生モードで、ファイルを認識できない原因となります。
- メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きでカードスロットに合わせて「カチッ」と音がするまで差し込んでください。無理に挿入しないでください。メモリーカードを破損させる原因となります。

レンズに関するご注意

- レンズの使用前後には、汚れやほこりが付着くしないように、レンズキャップ、ダストキャップ、ボディーキャップを取り付けてください。
- レンズの汚れ、ほこりを取り除くときは、専用のレンズ拭き取り紙で傷をつけないように軽く拭いてください。
- レンズを取り付けるときは、レンズマウントに傷が付かないように真直ぐに傾きのないように取り付けてください。

■ レンズを使用しないときは、レンズ面を保護するために、必ずレンズキャップを取り付けてください。

■ レンズの取り付け/取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。

■ レンズを取り外したときは、レンズ表面やレンズ電子接点に傷がつかないように、ダストキャップとレンズキャップを取り付けて、ボディー取り付け面を上向きに置いてください。

■ レンズ電子接点に触れて汚したり、破損させないように注意してください。

■ 破損を防ぐため、直射日光の当たる場所に長時間レンズを放置しないでください。

■ ケガや障害を避けるために、レンズは幼児の手の届かないところに保管してください。

■ レンズを長時間使用しないときは、清潔な乾燥した場所に保管してください。

その他に関するご注意

■ ファームウェアの更新中は電源をオフにしないでください。変更中にカメラの電源が切れると、カメラの電源が入らなくなり、撮影できなくなります。カメラの電源はフル充電した専用バッテリーご使用下さい。

■ 子供の首にショルダーストラップを掛けないでください。首に巻きついて窒息の原因となります。

■ 使用が制限されている場所（飛行機、医療機関など）では、そこの規定を厳守してください。

■ 液晶モニターにいくつかのきわめて小さな点（白、黒）が常時表示される場合があります。これらの点は製造プロセスでは通常のことであり、記録された写真に影響を与えることはありません。

■ 液晶モニターを水で濡らさないでください。もし濡れてしまった場合は、清潔な柔らかい布で水分を拭き取ってください。

■ 液晶モニターが損傷した場合、液晶モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。

1. 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り、石鹸と流水でよく洗ってください。
2. 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
3. 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

3 目次

警告 1

安全上の注意 3

目次 7

準備をする 13

付属品一覧 13

ショルダーストラップを取り付ける 14

各部名称 15

レンズの特徴 17

レンズを取り付ける/取り外す 18

フラッシュを取り付ける 20

液晶モニターの角度を変える 21

電池とメモリーカードの装填 22

電池を充電する 24
電源をオン/オフに切り換える 25
言語と日時の設定 26

基本操作 29

カメラの構え方 29
静止画撮影モード画面表示 30
動画撮影モード画面表示 32

モードダイヤルの使用 33

自動シーンモード 33
プログラム AE P 34
シャッター優先 S 34
絞り優先 A 34
手動モード M 34
シーンモード SCN 35
Wi-Fiモード 41

カスタム設定 **CS** 48

ボタン機能 50

セルフタイマー/連写ボタン機能紹介 50
ロックボタン機能紹介 52
情報ボタン紹介 53
露出ボタン機能紹介 55
露出補正 55
ISO感度 56
シャッター速度 56
絞り値 57
動画撮影ショートカット 57
確定ボタン機能紹介 58
測光方式 59
AFエリア 59

ホワイトバランス 60
AF方式 62
色彩効果 65
フラッシュモード 66
手ブレ補正 67
WDR 68
メニューボタン機能紹介 69
Fn設定 70
撮影設定1 72
撮影設定2 77
一般設定 82
ファイル・ソフトウェア 84

静止画と動画を見る 89

再生モード時の液晶モニター画面表示 90
サムネイルビュー 91
画像を消去する方法 92

再生モード時の確定ボタンメニュー.....93
回転.....93
色彩.....94
HDR 95
最適化.....96
画像サイズの変更（リサイズ） 97
再生設定メニュー.....97
連写の再生 104
タイムラプス動画の再生 105
パノラマ動画再生.....106
スライドショー再生.....107
画像を拡大する（静止画専用） 108

カメラ接続 109

PCに接続する.....109
PictBridge互換プリンターに接続する 111
PictBridgeメニューを使用する.....113

テレビシステム 117
Eye-Fi カード接続モード 118
HDMI接続のサポート 118
HDMI CEC 制御 119

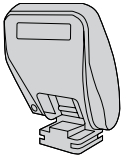
付録 125

カメラ仕様 125
エラーメッセージ 130
困ったときには 136

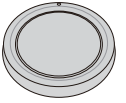
4 準備をする

付属品一覧

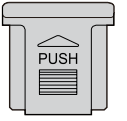
パッケージには、ご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください（ACアダプターのプラグの形状は国や地域によって異なっています。記載品は標準サンプルです）。



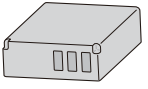
フラッシュ



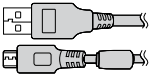
ボディーキャップ
(カメラに取り付けてあります)。



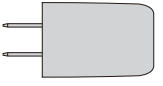
アクセサリー保護キャップ
(カメラに取り付けてあります)。



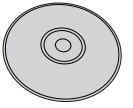
充電式リチウムイオン電池



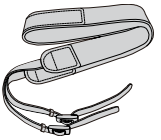
USBケーブル



AC アダプター



CD-ROM

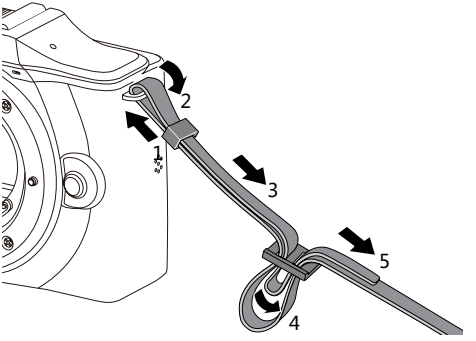


ショルダー
ストラップ

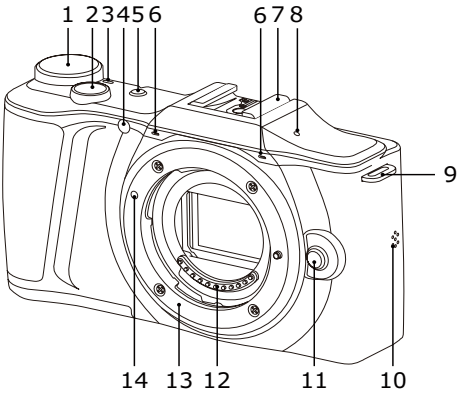
保証書

サービスカード

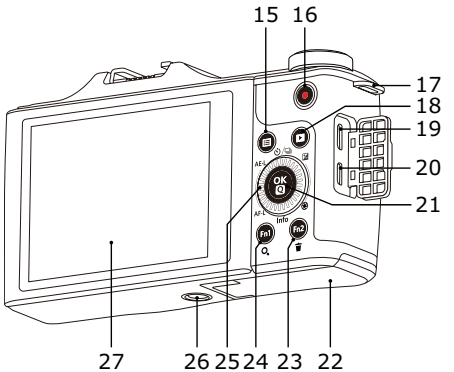
ショルダーストラップを取り付ける



各部名称



1. モードダイヤル
2. シャッターボタン
3. 電源ランプ
4. AFアシストビーム/タイマーインジケーター
5. 電源ボタン
6. マイク
7. アクセサリーシュー
8. [ ] Wi-Fi信号ランプ
9. ストラップ取り付け部
10. スピーカー
11. レンズロック解除ボタン
12. 接点
13. レンズマウント
14. レンズ合わせ指標



スクロールダイヤルを回して、機能ボタン上 [▲/]/下[▼Info] /左 [◀AE·L/AF·L] /右 [▶/]の代わりにクイック選択することができます。

15. [ ] Menu ボタン
16. [ ] 動画ボタン
17. ストラップ取り付け部
18. [ ] 再生ボタン
19. Micro USB 端子
20. Micro HDMI 端子
21. [ ] OKボタン
22. 電池カバー
23. [Fn2] カスタムボタン2
24. [Fn1] カスタムボタン1
25. スクロールダイヤル

    [▲/] セルフタイマー/連写ボタン上

    [▼Info] インフォボタン下

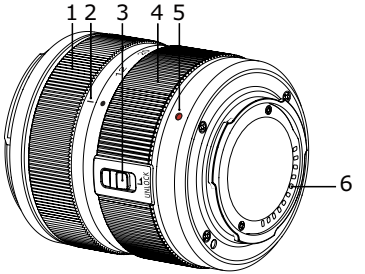
    [◀AE·L/AF·L] ロックボタン左

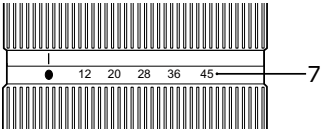
    [▶/] 露出補正ボタン右
26. 三脚ねじ穴
27. 液晶モニター

レンズの特徴

マイクロ4/3™マウント規格のレンズ
マイクロ4/3マウント規格のカメラに適用
しています。

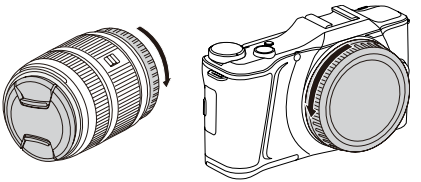
KODAK PIXPRO SZ ED 12-45mm F3.5-6.3 AF レンズ
を例として、レンズの使用を紹介します。

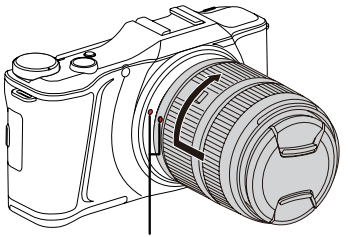


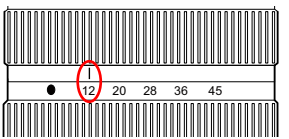


1	フォーカスリング
2	ズーム指標
3	レンズバックスイッチ
4	ズズームリングームリング
5	レンズ取り付け指標
6	接点
7	焦点距離

レンズを取り付ける/取り外す



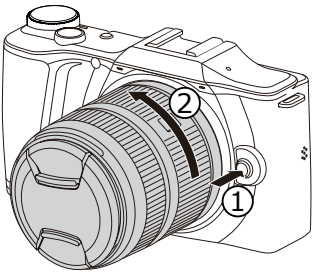




レンズを取り付ける

1. レンズのダストキャップとボディキャップを回して外します。
2. レンズの取り付け指標とカメラ側の取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。
3. レンズキャップを外します。

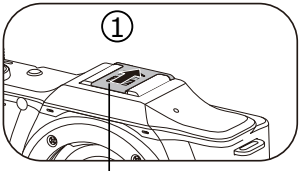
4. ズームリングを回して、焦点距離を「12」に合わせ、W端にします。



レンズを取り外す

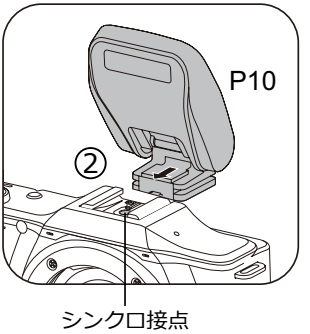
1. レンズロック解除ボタン ① を押しながら、レンズを ② 矢印方向に回して、取り外します。
2. レンズを取り外した後、レンズの両端とボディにキャップを取り付けます。

フラッシュを取り付ける



P10を例としてフラッシュの使用を紹介します。

1. ① 矢印の方向に、アクセサリー保護キャップを取り外します。

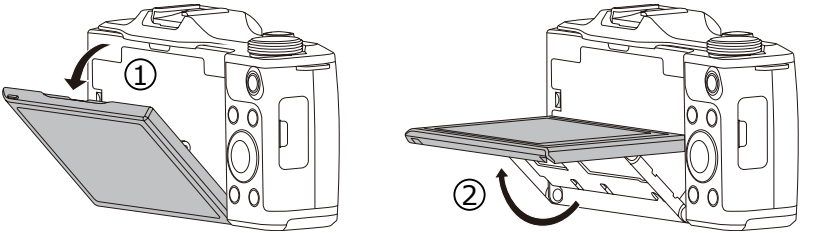


2. ② 矢印の方向に、フラッシュを取り付けます。

フラッシュを接続して、Pop-upさせても設定することができない場合は、フラッシュを取り付け直したり、乾いた布でシンクロ接点を拭き取ってください。

液晶モニターの角度を変える

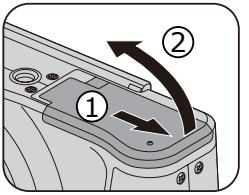
液晶モニターはカメラボディーに収納されて、下図の方向に、液晶モニターの角度を変えることができます。



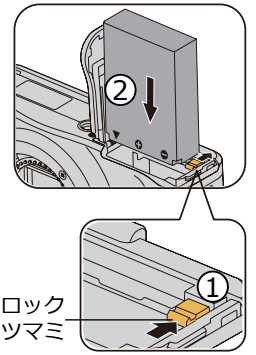
1. ① 矢印方向に、液晶モニターは開きます。
2. 液晶モニターは、② 矢印方向に、上下向きに動かせます。

液晶モニターの角度は、上下方向のみ変えることができます。強制的に他の方向に回転させないように注意してください。

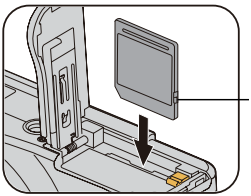
電池とメモリーカードの装填



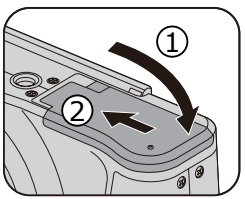
1. 電池カバーを矢印方向にスライドさせて開きます。



2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池の側面を使用して電池ロックツマミを矢印方向に逃がし、電池を正しく装填します。



3. 図に示すように、メモリーカードをメモリーカードスロットに装填します。

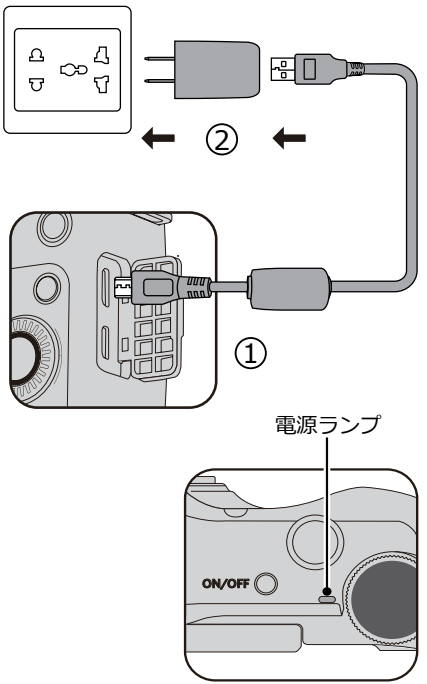


4. 電池カバーを閉じます。

メモリーカード(SD/SDHC)は別売りです。カメラの付属品ではありません。市販のメモリーカードを御求めください。4GBから32GBまで使用可能です。

メモリーカードを取り外すには、電池カバーを開け、指で軽く奥に押し込むと、カードが押しだされます。まっすぐ引き抜きます。

電池を充電する



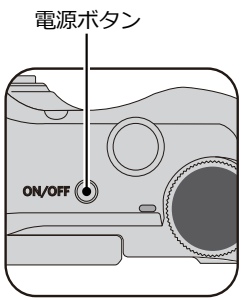
電池を装填し、充電する前に、カメラの電源はオフにしてください。

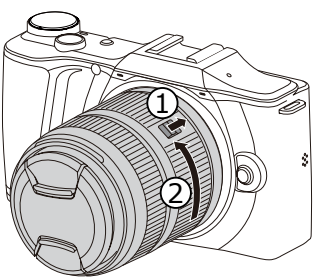
1. USBケーブルを利用して、カメラとACアダプターを接続します(ACアダプターのプラグの形状は国や地域によって異なります)。
2. ACアダプターのプラグを壁のコンセントに差し込んで、充電します。

長い間使用されなかった電池は、付属のACアダプターで、充電してから使用してください。

0℃～40℃の室内で電池を充電してください。

電源ランプ:
橙点灯: 充電中
緑点灯: 充電完了
電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は 4時間以上行ってください。





電源をオン/オフに切り換える

電源をオンにするには

1. カメラをオンにする前に、レンズキャップを取り外してください。
2. カメラの電源ボタンを押して、オンにします。

電源をオフにするには

1. カメラの電源ボタンを押して、オフにします。
2. レンズバックスイッチを ① 矢印方向へ逃がして、ズームリングを ② 矢印方向（時計回り）へ回転が止まるまで回します。
3. レンズキャップを取り付けます。

(▶) ボタンを長押しすると、カメラの電源がオンして、再生画面を表示することができます。

言語と日時の設定

言語設定

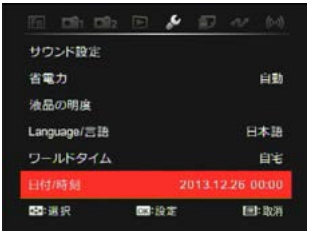
1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターに、Language/言語画面が表示されます。
3. 機能ボタン上 [▲/] /下 [▼**Info**] を押して、言語を設定します。
4. (OK) ボタンを押して、設定を確定します。
5. 言語設定が確定後、液晶モニターに、日付/時刻画面が表示されます。

日時設定

1. 機能ボタン上[▲/]/下[▼**Info**]を押して、「年月日」の表示順を選択します。
2. 機能ボタン右 [▶/] を押して年月日、時刻を選択し、機能ボタン上 [▲/]/下 [▼**Info**] を押して、値を合わせます。
3. (OK) ボタンを押して、設定を確定します。

確定した言語を変更する場合

1. カメラの電源をオンにします。
2. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン左 [◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して を選択します。
3. 機能ボタン上 [▲/]/下 [▼Info] を押して、「Language/言語」を選択し、(OK) ボタンを押します。
4. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、「Language/言語」を変更します。
5. (OK) ボタンを押して、設定を確定します。

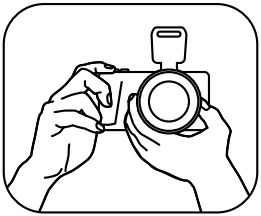


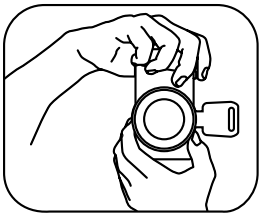
確定した日時を変更する場合

1. カメラの電源をオンにします。
2. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン左 [◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して を選択します。
3. 機能ボタン上 [▲/]/下 [▼Info] を押して、「日付/時刻」を選択し、(OK) ボタンを押します。
4. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info] 、左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/] を押して、値を変更します。
5. (OK) ボタンを押して、設定を確定します。

5 基本操作

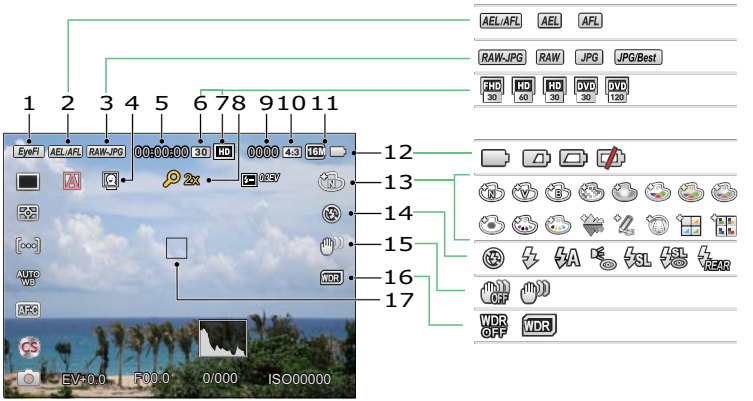
カメラの構え方



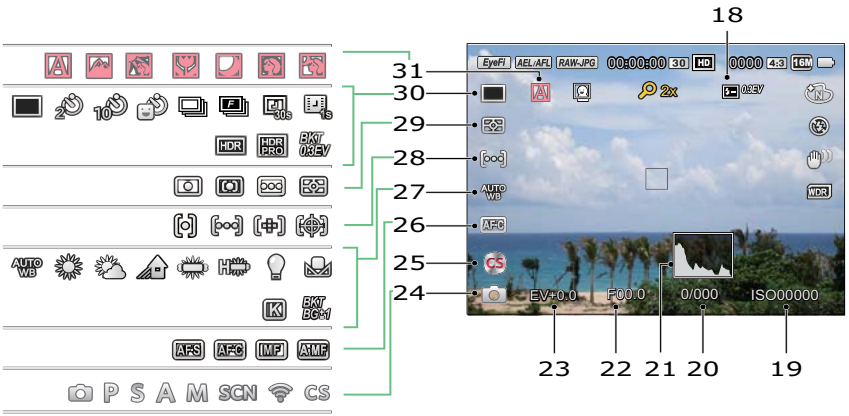


1. 右手でグリップをしっかりと持ち、左手で下からレンズを支えるように持ち、レンズを被写体に向けて、液晶モニターで構図を決めます。
2. レンズのズームリングを回して、撮影距離を調整します。
3. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

静止画撮影モード画面表示



1	Eye-Fi 表示(送信)	7	動画画像サイズ	13	色彩効果
2	AE/AFロック	8	デジタルズーム	14	フラッシュモード
3	画質	9	撮影可能枚数	15	手ブレ補正
4	顔検出	10	アスペクト比	16	WDR
5	撮影可能時間	11	画像サイズ	17	AFフレーム
6	動画フレーム（fps）	12	電池残量表示		



18	フラッシュ調光補正	23	露出補正	28	AFエリア
19	ISO感度	24	撮影モード	29	測光方式
20	シャッター速度	25	カスタム設定 CS	30	連写/セルフタイマー
21	ヒストグラム	26	AF方式	31	自動シーンモード
22	絞り	27	ホワイトバランス		

動画撮影モード画面表示

1	電池残量表示
2	静止画撮影可能枚数
3	撮影時間
4	動画モード

6 モードダイヤルの使用

カメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードダイヤルが付いています。

自動シーンモード

自動シーンモードは、撮影に使用するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

モード名	説明
自動	被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。
風景	風景写真の場合、背景に一致するように露出を自動的に調整します。
逆光のポートレート	太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、前景の露出を自動的に調整して人物が暗くならないように撮影します。
マクロ	小さな被写体をアップで撮影できるように自動的にピントを合わせます。
夜景	自動的にISO感度の値を高めて、最も美しい夜景撮影ができます。
ポートレート	人物撮影の場合、人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。
夜景ポートレート	夜間や暗い条件下で人物を撮影するとき、人物と背景の明るさを最適に自動調整します。

プログラム AE P
設定した露出補正値に合わせて、カメラは自動的にシャッター速度を設定します。露出補正値を変更した場合、シャッター速度と絞り値は露出補正値に合わせて変化します。

シャッター優先 S
シャッター速度を目的に合わせて設定できます。設定したシャッター速度に応じて適正露出になるようにカメラが自動的に絞り値を設定します。スポーツや子供などの早い動きを止めて撮影する場合にはシャッタースピードを速く設定します。シャッタースピードを遅く設定することで躍動感のある画像を撮影することができます。

絞り優先 A
絞り値を目的に合わせて設定できます。設定した絞り値に応じて適正露出になるようにカメラが自動的にシャッター速度を設定します。背景をぼかすにはF値を小さく設定します。F値を大きく設定することで背景を鮮明にすることができます。

手動モード M
撮影目的に合わせて絞り値とシャッター速度を設定できます。組み合わせにより、撮影範囲、条件などを広げたいときに使用します。

BULB（バルブ撮影）は、シャッターボタンを全押しすると、露出を開始して、画面に露出時間（最長30分）が表示されます。露出を終了させて、撮影を終わらせるには、再度シャッターボタンを全押しします（三脚の使用を推奨します）。

P S A M モードで、調整できない項目は以下の表を参照してください
(○：調整できる ×：調整できない)。

モード / 項目	絞り値	シャッター速度	露出値	ISO感度
P	× (表示)	× (表示)	○	○
S	× (表示)	o	○	○
A	○	× (表示)	○	○
M	○	○	× (表示)	○

1. ダイヤルモードを **P S A M** モードに合わせます。
2. 機能ボタン右 [▶/] を押して設定メニューが表示されます。
3. 機能ボタン左 [◀**AE·L/AF·L**]/右[▶/] を押して、調整する項目を選択します。
4. 機能ボタン上 [▲/]/下[▼**Info**]を押し、あるいは スクロールダイヤルを回して、パラメータを調整します。
5. (OK) ボタンを押して、設定を確定します。

シーンモード SCN

シーンモードでは、状況に合わせて合計14種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。

1. モードダイヤルを SCN（ **SCN** ）に合わせます。液晶モニターに以下の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]、上[▲/]/下[▼Info]を押して、撮影に適切なシーンモードを選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。
3. シーンモードを変更するには、(OK) ボタンを押して (MENU) ボタンを押します。機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]、上[▲/]/下[▼Info]を押して、撮影に適切なシーンモードを選択し直します。

パノラマモード

広い風景360度の撮影用。

1. パノラマモード( )を選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。
2. 機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]、上[▲/]/下[▼Info]を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで 2秒経過すると、自動的に初期設定と同様に左から右方向の撮影に設定されます。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを半押しし、フォーカス後、全押しして、最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面下側に、赤地に案内 ⇒ が表示されます。

4. 設定した方向に沿ってカメラを移動させます。順調に撮影が進むと、案内 ⇒ が少しづつ移動し、枠の端に到達したとき、撮影が完了します。
5. パノラマ画像は自動的に合成され、一秒間レビューで見ることができます。

撮影したパノラマ画像を動画再生で見ることができます。詳細については、106ページの「パノラマ動画再生」を参照してください。

撮影中にシャッターボタンあるいは (OK) ボタンを押して、画像を保存し、撮影を終了します。

機能ボタン下 [▼**Info**] を押して、保存せずに撮影を終了することもできます。

撮影中、画面に「画面が一致しませんもう一度やり直してください」と表示されたときは、構図を決めるときカメラの移動角度のズレが大きかったためです。撮影された画像は保存されます。

手持ち夜景

暗い条件下で撮影するとき、手ブレを軽減します。

8M以下の画像サイズでは、4枚の画像をクイック撮影し、1枚の鮮明な夜景写真に合成します。

このモードではセルフタイマー(笑顔)を選択することができません。

三脚を使用しない場合でも、夜景をキレイに撮影できます。

美肌

肌色を明るく、美しく見せます。

1. 美肌( )を選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。
2. 再度 (OK) ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
3. 機能ボタン上[▲/]/下[▼**Info**]を押して、( ) を選択します。
4. [ ] スクロールダイヤルを回して、美肌の効果方式を選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

- 効果1：肌色
- 効果2：肌色+目を明るく
- 効果3：肌色+目を明るく+目を大きく

多重露光

被写体が同じ背景での移動する動作を記録できます（最大6枚）。

1. 撮影する前に三脚等でカメラを固定してください。シャッター ボタンを長押ししている間は6枚撮影した後、自動的に停止します。また途中で停止する場合はシャッターボタンから指を離してください。
2. 被写体がカメラ視野の左端から右端へ移動する場合は記録でき ますが、逆の方向へ移動する場合は記録できません。
3. 被写体の移動速度が速すぎる、あるいは距離が近すぎる場合は撮影効果に影響します。

撮影中、画像サイズは5Mに設定されます。

ペットモード犬/猫

イヌやネコの顔を検出すると、カメラは自動撮影を行います。

イヌや猫の顔を検出すると、白色のフレームが表示されます。ピント合わせに成功すると、カメラは一枚の画像を撮影します（ピントが合うと緑色のフレームが表示され、ピントが合わないとオレンジ色のフレームが表示されます）。

最多10匹の犬/猫の顔を検出することができます。

雪

雪景色を撮影するとき、露出不足を減少します。

パーティー

夜の撮影でも、ブレを抑えた撮影を行います。

スポーツ

動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。

三脚の使用を推奨します。

夜景ポートレート

夜景を背景にした人物撮影に適しています。

三脚の使用を推奨します。

鮮明な画像を撮影するために、撮影終了後、被写体は約1秒間静止してください。

ポートレート

ポートレートを主体とする画像を撮影します。

人物撮影の場合、人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。

子供

子供やペットの目を保護するため、フラッシュの発光は禁止になっています。

風景

風景の撮影では、緑と青色を鮮やかに再現します。

夜景の場合には適していません。

夕日

夕日用逆光での被写体撮影に適しています。

花火

夜間の花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかに再現します。

各シーンで使用できる機能

シーン	使用できる機能
手持ち夜景	セルフタイマー *1/タイムラプス動画/測光方式
美肌	セルフタイマー/タイムラプス動画/測光方式/美肌/フラッシュモード
多重露光	タイムラプス動画/測光方式
ペットモード犬/猫	自動撮影/連写/タイムラプス動画/測光方式
雪	セルフタイマー/連写/タイムラプス動画/測光方式/フラッシュモード
パーティー	セルフタイマー/連写/タイムラプス動画/HDR/測光方式/フラッシュモード
スポーツ	連写/タイムラプス動画/測光方式
夜景ポートレート	セルフタイマー/タイムラプス動画/HDR/測光方式
ポートレート	セルフタイマー/連写/タイムラプス動画/HDR/測光方式/フラッシュモード
子供	連写/タイムラプス動画/測光方式
風景	セルフタイマー *1/タイムラプス動画/測光方式
夕日	セルフタイマー *1/タイムラプス動画/HDR/測光方式/フラッシュモード
花火	セルフタイマー *1/連写/タイムラプス動画/測光方式

*1セルフタイマー機能項目の「笑顔」を選択することはできません。
連写機能では、「連写」と「インターバル撮影」のみ選択することができます。

Wi-Fiモード

携帯用デバイスと接続して、画像を伝送し、リモート制御を実現します。

- Android 2.3.4.xバージョンを使用しているスマートフォン、Android 4.xバージョンを使用しているタブレットPC及びiOS 6.7バージョンを使用しているスマートデバイスに適合しています。
  もし適合していない場合は、先にバージョンアップをしてください。
- 強力な磁気、電波、静電気を出す場所（例えば電子レンジ付近）で、使用しないでください。信号の送受信に影響が発生します。
- スマートデバイスとの距離を10メートル（約32フィート）以内に保持し、信号の遮蔽物等がないことを確認してください。
- 飛行機内で、ワイヤレスLAN機能を使用しないでください。
- 一台のカメラは、一台のスマートデバイスと接続することができます。

アプリのダウンロードおよびインストール

PIXPRO Remote Viewer インストールパックを下記よりダウンロードし、お持ちのスマートデバイスにインストールしてください。

Androidシステム：Androidデバイスの場合、Google playより「PIXPRORemote Viewer」をダウンロードし、説明に従いインストールしてください。

iOSシステム：　Apple社製品の場合、Apple Storeより「PIXPRO Remote Viewer」をダウンロードし、説明に従いインストールしてください。

1. モードダイヤルを に合わせると、Wi-Fi選択画面が表示されます。
2. 機能ボタン左 [◀AE-L/AF-L]/右[▶/]を押して、メニューを選択します。

- 「設定」：
  カメラシステムのWi-Fi設定をしてください。
- 「Station」：
  ステーションモードを利用して、モバイル機器で作成した「個人ホットスポット」に接続します。
- 「APモード」：
  APモードで、カメラはアクセスポイントとして機能し、別のWi-Fiデバイスに接続します。

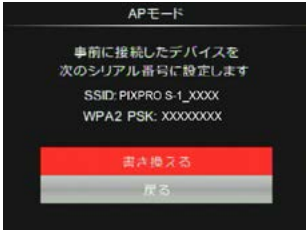
モードダイヤルを回すと、Wi-Fi接続が切断されます。

AP モード

カメラはWi-Fiを通じて、スマートデバイスと接続することができます。

カメラ設定

1. を選択し、(OK) ボタンを押して設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン上 [▲/]/下 [▼Info] を押して、項目を選択します。



3. 「書き換える」を選択した場合は、(OK) ボタンを押して更新します。更新後、「戻る」を選択して、(OK) ボタンを押します。
   - 書き換える：カメラは自動的に1セットのパスワードを更新します。
   - 戻る：前のページへ戻ります。

スマートデバイス設定

1. スマートデバイスのWi-Fi機能を開き、周囲のワイヤレスネットワークを検索します。
2. カメラのSSID名称を選択して、カメラが表示しているWPA2-PSK隣りの八桁数字のパスワードを入力します。
3. APPアプリケーションのアイコン をクリックして、APPを開きます。

設定完了

カメラとスマートデバイスの接続が完了した後、スマートデバイスで機能操作を行うことができます。

Station

スマートデバイスのWi-Fiテザリングを使用して、カメラと接続させ、画像の伝送とリモコン撮影を行います。

1. スマートデバイスのWi-Fiテザリングを開きます。
2. カメラ画面の を選択して、 (OK) ボタンを押し、設定を確定すると、スマートデバイスと接続します。
3. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info] を押して、スマートデバイスの名称を選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定すると、パスワードの入力画面が表示されます。

機能ボタン左[◀AE-L/AF-L]/右[▶/]を押して、「戻る」あるいは「スキャン」を選択することができます。

- スキャン：周囲のワイヤレスネットワークおよびスマートデバイスを再検索します。
- ▶　：　接続するスマートデバイスの名称を選択します。
- 戻る：　前のページへ戻ります。

4. 機能ボタン上 [▲/]/下[▼Info] /左[◀AE-L/AF-L]/右[▶/]を押し、あるいは スクロールダイヤルを回して、数字またはアルファベット選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。WPA2-PSKパスワードの入力を完成させた後、保存します。

画面にあるアイコンの説明

アイコン	説明
⌫	最後の文字を消去する
A/a	アルファベット文字の大文字/小文字を変換します
← →	カーソルを移動する
#!?	記号の表示を切り換える
␣	スペースを入力する

5. パスワードを保存後接続が開始します。
   - 接続に成功した後、液晶モニターには、以下の画面が表示されます。

   - 接続に失敗したときは、スマートデバイスのWi-Fiテザリングを開いて、再試行してください。
6. 接続に成功した後、スマートデバイスにインストールした専用APP で機能操作を行うことができます。

Wi-Fi 接続状態の表示

Wi-Fi 接続が完了して、APPの起動を待っています。

Wi-Fi 接続が完了して、APPが起動しています。

接続の状態を選択します。

- いいえ：Wi-Fiの接続を保持して、前のページへ戻ります。
- はい：　接続を中断して、Wi-Fiモードの選択画面へ戻ります。

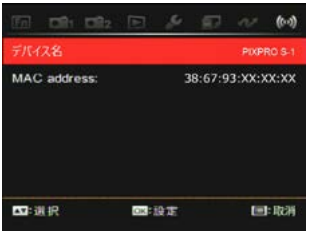
スマートデバイスのWi-Fi信号が切断されています。

- 戻る：　Wi-Fiモードの選択画面へ戻ります。

設定

カメラのデバイス名をキー入力で変更することができます。

1. を選択して、(OK) ボタンを押して設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン上[▲/]/下[▼**Info**]を押して、調整する項目を選択して、(OK) ボタンを押します。カメラのデバイス名の画面が表示されます。



デバイス名

デバイス名は出荷時、「PIXPRO S-1」に設定されます。キー入力でデバイス名を変更することができます。

キー入力の方法は44ページのパスワード入力方法を参照してください。

MACアドレス

カメラのワイヤレスネットワーク接続時のMACアドレスを見ることができます。

App操作方法

ホームページに《PIXPRO Remote Viewer取扱説明書》をご参照ください：

http://kodakpixpro.com/AsiaOceania/jp/

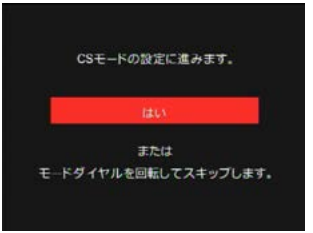
カスタム設定 CS

よく利用する撮影モードやパラメーターを保存しておき、いつでも呼び出すことができ、このモードに切り換えることで、すばやく撮影することができます。

CS モードでの設定について（カスタム設定を行わない場合あるいは、リセットを行った場合）

1. モードダイヤルを **CS** に合わせます。

2. 機能ボタン左 [◀AE･L/AF･L]/右 [▶/] を押して、設定するモード、シーンを選択し、(OK) ボタンを押して、設定を確定します。
3. カスタム設定をしない場合は、(MENU) ボタンを押して、再 **CS** モード設定画面が表示されます。



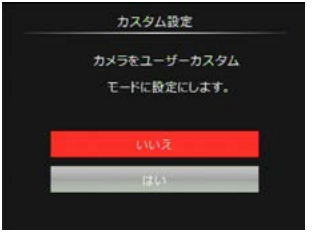
4. カスタム設定をする場合は、「はい」を選択して、(OK) ボタンを押します。しない場合は、モードダイヤルを回して、他のモードに切り替えることができます。

メニューからのカスタム設定（ CS モード以外のモードでの場合）

1. モードダイヤルを **CS** モード以外のモードに合わせます。
2. パラメーター（露出補正、シャッター速度、AF等）を設定します。
3. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン左 [◀AE･L/AF･L]/右[▶/] を押して、**2** を選択します。

4. 「カスタム設定」を選択し、(OK) ボタンを押して、カスタム設定画面が表示されます。

5. 「はい」を選択して保存するか、「いいえ」を選択して取り消します。



6. (OK) ボタンを押して、設定を確定します。

カメラ出荷時に、カスタム設定は行ってありません。

カスタム設定の解除及び変更する場合は、リセットを行ってください（86ページのリセットを参照してください）。

7 ボタン機能

撮影モードにより、全てのメニューは使用できません。

セルフタイマー/連写ボタン機能紹介 ▲/

モード： P S A M SCN CS

一枚撮り、セルフタイマー、連写、インターバル撮影、タイムラプス動画、HDRあるいは露出ブラケティングを設定することができます。

1. 機能ボタン上[▲/] を押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/] を押して、11種類のメニューから選択することができます。

- 一枚撮り
  1コマのみ撮影します。
- セルフタイマー：2秒
  シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、2秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
- セルフタイマー：10秒
  シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、10秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
- セルフタイマー：笑顔
  笑顔を検出するとシャッターが切れます。
- 連写
  シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。

- 高速連写 (4M)
  4Mサイズで、連続して撮影できます。
- インターバル撮影
  事前に設定した撮影間隔で自動的に連続して撮影します。長時間かかる録画を短い時間に縮めて動画で見れます。(☰) ボタンを押して撮影間隔（30秒、1分、5分、10分）を選択することができます。
- タイムラプス動画
  一定時間の間隔を空けて撮影し、毎間隔ごとの、1フレーム動画をつなぎ合わせて、数分時間の動画として見ることができます。(☰) ボタンを押して、間隔（1秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、5分、10分、1時間）を選択することができます。
- HDR (-1EV、0EV、+1EV)
  静止画を撮影するときに、このハイダイナミックレンジ補正をお使いください。明るい部分は明るく、暗い部分では対象物の輪郭を強調した深みのある写真が撮れます。
- HDR PRO
  (-3EV、0EV、+3EV)明暗差の大きい場合に、この機能を選択すると、特に暗部の精度を高めた画像を撮影することができます。
- 露出ブラケティング
  シャッターボタンを1回押して、カメラは自動的に3通りの異なる明るさの撮影を行ないます。元の露出を撮影意図に応じて明るくしたり、暗くしたりします。
  (☰) ボタンを押して、補正量（0.3EV/0.7EV/1.0EV/1.3EV/1.7EV/2.0EV）を選択することができます。

3. (OK) ボタンを押して設定を確定します。

タイムラプス動画

① 動画画像サイズは、FHD（1920x1080）と、HD（1280x720）のみ選択することができます。初期設定は、FHD（1920x1080）に設定されています。

② シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。シャッターボタンを再度全押しすると、撮影は終了し、自動的に画像を生成して保存します。

③ 最大で999枚まで撮影できます。

④ 音声の記録はできません。

HDRを設定しているときは、フラッシュは使用できません。撮影時には、三脚の使用を推奨します。

ロックボタン機能紹介 ◀AE-L/AF-L

モード：**P S A CS**

露出補正とAF方式をロックすることができます。

(☰) ボタンを使用して、設定してある「AE/AFロック」を解除したり、再設定したりすることができます。「AE/AFロック」の設定については、71ページを参照してください。

以下のステップにより、操作してください。

撮影モードで、機能ボタン左 [◀AE-L/AF-L] を繰り返して押すことにより、AE/AFロックを解除したり、再設定したりすることができます。

情報ボタン紹介 ▼Info

モード：P S A M SCN CS

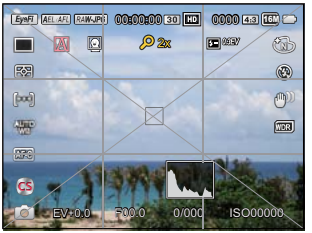
画面の情報表示をコントロールします。

機能ボタン下[▼Info] を押して、4種類の画面表示に切り換ります。

機能の情報表示

情報表示なし

グリッドガイドとヒストグラムの表示



情報表示

モード：

機能ボタン下[**▼Info**]を押して、3種類の画面表示に切り換ります。

機能の情報表示

情報表示なし

詳細の情報表示

露出ボタン機能紹介▶/

露出補正、ISO感度、シャッター速度と絞り値を調整することができます。

1. 機能ボタン右[▶/]を押して、設定メニューが表示されます。

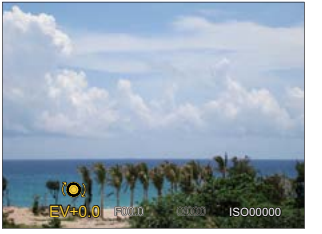
   「露出ボタン機能」4種類のメニューから構成されています。

   - 露出補正
   - ISO感度
   - シャッター速度
   - 絞り値

2. 機能ボタン左 [◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、メニューを選択します。
3. 機能ボタン上 [▲/]/下[▼Info]を押して、値を設定します。

露出補正

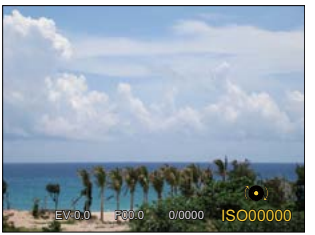
画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します（露出補正の設定はカメラが、**P S A CS** モードに入っているときのみ使用できます）。



露出値の調整可能範囲は、
EV-3.0～EV+3.0です。

ISO感度

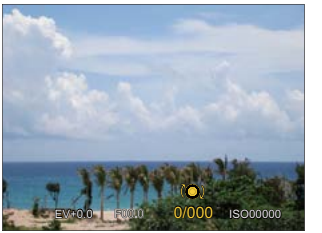
ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります（ISO感度の設定はカメラが、**P S A M CS** モードに入っているときのみ使用できます）。



ISO感度の調整可能範囲は、自動、200、400、800、1600、3200、6400, 12800です。

シャッター速度

動きのある被写体を撮影する時、シャッター速度を意図的に速めると被写体が、一瞬止まったように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動く被写体の軌道が流れるように撮影でき、感動を与えてくれます（シャッター速度の設定はカメラが、**S M CS** モードに入っているときのみ使用できます）。



シャッター速度の調整可能範囲は、1/4000秒～30秒です。

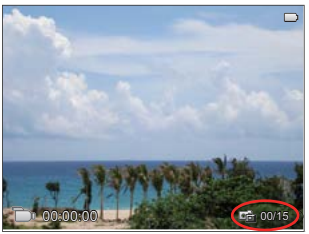
絞り値

絞り値を目的に合わせて設定できます。設定した絞り値に応じて適正露出になるようにカメラが自動的にシャッター速度を設定します。焦点の合う位置を調整して、被写体の背景をぼかしたり、あるいは鮮明にすることができます（絞り値の設定はカメラが、**A M CS** モードに入っているときのみ使用できます）。

絞り値の調整可能範囲は、F3.5～F22.0です。

動画撮影ショートカット●

● ボタンを押すと、素早く動画モードに切り替わって録画を開始します。



録画中、シャッターボタンを全押しして、静止画を最多で15枚まで撮影することができます。

動画画像サイズにより、撮影した画像を再生するときに対応しているサイズは以下の通りです。

FHD -> 2M 2M

HD -> 1M 1M

DVD -> VGA VGA

動画撮影を終了するには、● ボタンを押すと、動画を保存して、撮影画面に戻ります。

確定ボタン機能紹介 (OK)

モード： P S A M SCN CS

1. 撮影モードで (OK) ボタンを押して、設定メニューが表示されます。

   「確定ボタン機能」9種類のメニューから選択することができます。

   - セルフタイマー/連写(詳細については、50ページを参照してください）。
   - 測光方式
   - AFエリア
   - ホワイトバランス
   - AF方式
   - 色彩効果
   - フラッシュモード
   - 手ブレ補正
   - WDR

   撮影モードにより、全てのメニューは使用できません。

2. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、メニューを選択します。
3. [ ]スクロールダイヤルを回して、サブメニューを選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

- スポット
  画面中央のAFフレーム内を測光します。
- 中央部重点
  画面中央部の範囲を重点に測光します。
- マルチ
  画面全体の光量を測定して、自動的に最適な露出が得られるように算出します（比較的光量のばらつきが少ない照明やコントラスト差の少ない場面に適用します）。
- AiAE
  画面中央部と周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。

AFエリア

撮影モードにより、焦点を合わせるAFエリアを選択することができます。

- センターAF
  被写体が画面中央のAFフレームに表示されると、焦点が合います。
- マルチAF
  カメラは焦点を見つけるために、広いエリアで被写体に自動的に焦点を合わせます。
- スポットフォーカス
  オートフォーカスの範囲から１点の位置を選択します。

- 自動追尾 AF
  被写体が動いてもカメラが自動的に追尾して焦点を合わせます。

スポットフォーカスを設定したとき、スクロールダイヤルを回し、機能ボタン上[▲/]/下[▼**Info**]左[◀**AE-L/AF-L**]/右[▶/] を押して、画面内の焦点位置を調整することができます。

被写体に焦点を合わせ、シャッターボタンを半押ししている間は自動追尾を続けます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します。

- オートホワイトバランス
  撮影シーンに応じて、自動的に調整を行います。
- 晴天
  晴れた日の屋外での撮影に適しています。
- 曇天
  曇り空の屋外での撮影に適しています。
- 日陰
  晴天の屋外で日陰を撮影するのに適しています。
- 蛍光灯
  室内で蛍光灯の下での撮影に適しています。

- 蛍光灯 H
  室内で蛍光灯Hの下での撮影に適しています。
- 白熱電球
  室内で白熱電球の下での撮影に適しています。
- 手動ホワイトバランス
  現在の光源に合わせ、(▤) ボタンを押して、WBを設定します。
- 色温度（1900K~10000K）
  (▤) ボタンを押して設定メニューが表示されます。(◎) スクロールダイヤルを回して、色温度を調整します。(▤) ボタンを再度押して確認ができます。(OK) ボタンを押して設定を確定します。
- WBブラケティング
  シャッターボタンを全押しして、3種類の異なる色温度で撮影した画像を取得できます（**P S A M** モードでのみ使用可能）。

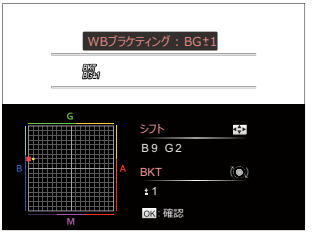
WBブラケティング

(▤) ボタンを押して設定画面が表示されます。機能ボタン上［▲/］/下［**▼Info**］/左［**◀AE·L/AF·L**］/右［▶/］を押して、シフト位置を調整し、(◎) スクロールダイヤルを回して、BKT値（0、1、2)を調整できます。

時計回りの方向に回して、X軸「(B-A)BKT値」を調整できます。

反時計回りの方向に回して、Y軸「(G-M)BKT値」を調整できます。

(OK) ボタンを押して設定を確定します。



WBブラケティング値の設定範囲は、(◎) スクロールダイヤルを両側に回して、最大3目盛をシフトすることができます。ボーダー側に設定したときは、片側だけのシフトになるため、2枚の画像を撮影します。シフトしないときは、1枚の画像を撮影します。

AF方式

撮影目的に合わせて、焦点の合わせ方を設定できます。

- AF-S シングル AF
  静止や動きの少ない被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しして、焦点を合わせてシャッターボタンを全押しします。
- AF-C コンティニュアス AF
  動きのある被写体に対しての撮影に適しています（例えば、運動中の人物）。シャッターボタンを半押ししている間は焦点を自動的に合わせ続けます。
- MF マニュアルフォーカス
  フォーカスリングを回して、任意の位置に焦点を合わせることができます。
- A-MF オート+マニュアルフォーカス
  自動で焦点を合わせた後、シャッターボタンを半押ししながら、フォーカスリングを回して焦点の微調整ができます。

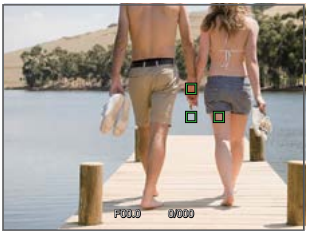
マニュアルフォーカス機能は **P S A M CS** モードでのみ使用することができます。

マニュアルフォーカスを使用するときは、先に (目) ボタン機能の中からMFアシストをオンに設定してください（詳細については、76ページを参照してください）。

拡大焦点ズーム枠の表示

マニュアルフォーカス（MF）およびMFアシストをオンに設定したとき、フォーカスリングあるいは スクロールダイヤルを回して、拡大焦点ズーム枠が液晶モニターに表示されます。手動でベスト焦点位置に調整することができます。拡大焦点ズーム枠を閉じるには OK ボタンを押します。マニュアルフォーカス時は、AFフレームは表示されません。シャッターボタンを全押しして撮影してください。

自動+手動フォーカスを設定したときの拡大焦点ズーム枠は、センターAFとマルチAFをAF工リアで設定したときのみ画面に表示されます。



シャッターボタンを半押しして、自動で焦点を合わせながら、フォーカスリングや スクロールダイヤルを回して、拡大焦点ズーム枠で、焦点合わせの微調整ができます。焦点が合った後、シャッターボタンを全押しして画像を撮影します。拡大焦点ズーム枠は撮影後、自動で閉じますが (OK) ボタンを押しても閉じることができます。

拡大焦点ズーム枠が表示されないシングルAFやコンティニュアスAFでは、シャッターボタンを半押ししたとき、自動で焦点を合わせます。

色彩効果

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されることができます。

- 普通
- 鮮明
- 白黒
- ドリーム
- ぼかし
- Ektachrome
- Kodachrome
- Kodacolor
- スタジオ
- パンク
- ネガ
- 反射
- スケッチ
- 魚眼
- 4グリッドースタイリッシュ(2M) 標準+暖かい黄色+新和風式+冷たいグリーン4種類スタイリッシュの組み合わせ効果
- 4グリッドー部分的カラー (2M) 青/黄/緑/赤 4種類単色から抽出したスタイリッシュの組み合わせ効果

フラッシュモード

暗い環境の中、あるいは逆光のときはフラッシュを使用することが有効です。被写体の位置、背景、明るさなどを考慮して適切なモードを選択してください（フラッシュの取り付けは20ページを参照してください）。

- 発光禁止
  あらゆる条件下でフラッシュは発光しません。
- 強制発光
  すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
- 自動発光
  カメラは、逆光および明るさに基づいてフラッシュを自動的に制御します。
- 赤目軽減
  予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。
- スローシンクロ
  夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
- スローシンクロ + 赤目軽減
  スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。

- REAR 後幕シンクロ
  シャッターボタンを押して、シャッターが閉じる直前にストロボが発光します（動いている被写体の後方のライトや明かりの軌跡を綺麗に撮影できます）。

フラッシュを取り付けてない、あるいはPop-upさせてない場合には、自動的に発光禁止に設定されています。他のフラッシュモードを選択することができません。

手ブレ補正

手ブレ補正は、暗い時またはシャッタースピードが遅いときに発生する手ブレ及び被写体ブレの影響を軽減します。

- 手ブレ補正：オン
- OFF 手ブレ補正：オフ

手ブレ補正は暗い場所で撮影するときにお勧めします。

風の強い場所や不安定な場所（動いている乗り物の中など）で撮影すると、ブレが生じることがあります。

WDR

撮影環境や逆光下において、被写体と背景の明るさに大きな差を検出したとき、DSP を通じて撮影した画像を自動的に調整して最適化します(**P S A M CS** モードでのみ使用可能)。

- WDR OFF WDR オフ
- WDR WDR オン

メニューボタン機能紹介 (MENU)

モード : P S A M SCN CS (Q)

1. 撮影モードで (MENU) ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左 [◀AE-L/AF-L]/右[▶/]を押して、8種類の項目から選択することができます。
   - Fn設定 Fn
   - 撮影設定1 1
   - 撮影設定2 2
   - 再生設定メニュー (Q) (詳細については、97ページを参照してください)
   - 一般設定
   - ファイル・ソフトウェア
   - カメラ接続 (詳細については、109ページを参照してください)
   - Wi-Fi (詳細については、46ページを参照してください)

撮影モードにより、全てのメニューは使用できません。

3. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、メニューを選択し、(OK) ボタンを押します。
4. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、サブメニューを選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

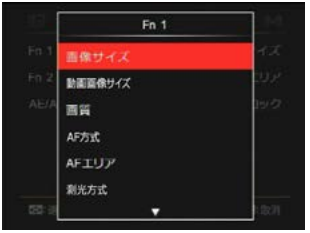
Fn設定 Fn

「Fn設定」3種類のメニューから選択することができます。

- Fn1
- Fn2
- AE/AFロック

Fn1/Fn2設定

この機能を使用して、Fn1あるいはFn2ボタンのクイック機能を定義することができます。



あらかじめ、Fn1/Fn2の機能を設定し、保存しておくと、撮影時にFn1/Fn2ボタンを押して、素早く保存した機能を呼び出すことができます。

ボタン	機能(参考頁)
Fn1/Fn2	画像サイズ (P78)
	動画画像サイズ (P79)
	画質 (P80)
	AF方式 (P62)
	AFエリア (P59)
	測光方式 (P59)
	フラッシュモード (P66)
	色彩効果 (P65)
	最適化 (P96)
	ホワイトバランス (P60)
	WDR (P68)
	手ブレ補正 (P67)

出荷時、Fn1は色彩効果に、Fn2はAF方式に設定されています。

AE/AFロック

露出値（明るさ）あるいはAF方式（焦点）を固定することができます。

3種類のメニューから選択することができます。

- [AE-L]：AEロック
  露出値をロックします。
- [AF-L]：AFロック
  フォーカス値をロックします。
- [AE/AF-L]：AE/AFロック
  露出値とフォーカス値をロックします。

撮影設定1 1

「撮影設定1」6種類のメニューから選択することができます。

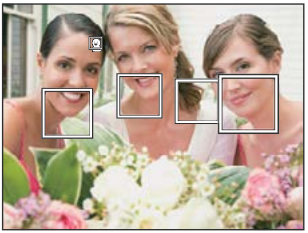
- 顔検出
- AFアシストビーム
- 日付写し込み
- レビュー
- デジタルズーム
- MFアシスト

顔検出

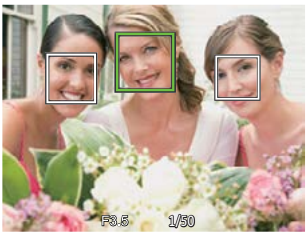
撮影モードで、顔検出の設定をオンにすると、自動で顔に焦点が合います。

2種類のメニューから選択することができます。

1. カメラを構えて、被写体に向け顔を検出すると、液晶モニターの顔部に白枠のフレームが表示されます。



2. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体に焦点を合わせます。焦点が合うと、白枠のフレームが緑枠のフレームに変わります。



3. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

瞬き検出機能が有効になっています。再生時に瞬きを検出したときは、が表示されます。

AFアシストビーム

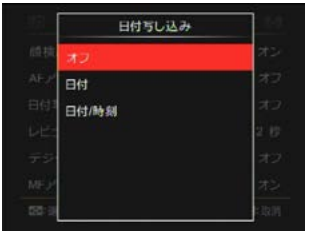
この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。

2種類のメニューから選択することができます。

AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。



3種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 日付
- 日付/時刻

レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。

4種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 2 秒
- 5 秒
- 再生

再生を選択すると、毎回撮影が終了した後、再生モードが表示されます。

各撮影モードで使用できるオプション
○-レビュー時間を設定できる
　瞬き検出機能を有効にできる
X-レビュー時間を設定できない
　瞬き検出機能を有効にできない

	レビュー2、5秒	レビュー再生	瞬き検出機能 *
ペットモード犬/猫	固定2秒	X	X
笑顔	固定2秒	X	○
パノラマ	○	○	X
連写	固定2秒	X	X
高速連写	固定2秒	X	X
インターバル撮影	固定2秒	X	X
HDR	○	○	○
WDR	○	○	○
色彩	○	○	○
WBブラケティング	○	○	X
露出ブラケティング	固定2秒	X	X

注意説明
*　瞬き検出機能を有効にするには、先に顔検出をオンにしてください。

デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオフ/2x/4xを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。

3種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 2x
- 4x

MFアシスト

この設定により、マニュアルフォーカス時に拡大の焦点ズーム枠が表示されます。被写体の焦点合わせがやりやすくなります（**PSAM**モードでのみ使用可能)。

2種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- オン

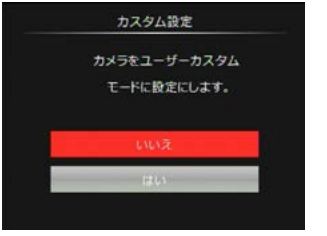
撮影設定2

「撮影設定2」5種類のメニューから選択することができます。

- カスタム設定
- 画像サイズ
- 動画画像サイズ
- 画質
- フラッシュ調光補正

カスタム設定

よく利用する撮影モードやパラメーターを保存して、すばやく撮影できます。



2種類のメニューから選択することができます。

- いいえ
- はい

画像サイズの設定

サイズ設定は、ピクセルで画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

8種類のメニューから選択することができます。

- 16M：高品質印刷
- 14M-3:2：フルサイズ印刷
- 12M-16:9：16:9 印刷
- 10M：A3ノビサイズ印刷
- 4M：A3印刷
- 3M：A4印刷
- 2M-16:9：10 x 15cm印刷
- VGA：電子メール

記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

動画画像サイズ

動画画像サイズの設定により、画像の解像度が変わります。

動画画像サイズ

- 1920x1080: フルハイビジョン（フルHD）画質で記録します。アスペクト比は16:9になります。
- 1280x720: フルハイビジョン（HD）画質で記録します。アスペクト比は16:9になります。
- 640x480: 標準画質で記録します。アスペクト比は4:3になります。

5種類のメニューから選択することができます。

高画質の画像記録に必要なSDカードのクラス

No.	動画画像サイズ	駒/秒 (fps)	推奨	録画時間	
				(4GB)	(8GB)
1	1920x1080 *	30	Class 6	約30分	約60分
2	1280x720 *	60	Class 6	約32分	約66分
3	1280x720 *	30	Class 4	約59分	約119分
4	640x480	30	Class 4	約106分	約213分
5	640x480	120	Class 6	約54分	約108分

* 動画で連続撮影できるのは1回につき29分までです。

高画質で動画撮影中に、カメラ内部の温度が上昇して、自然に中断することがありますが、これは故障ではありません。

640x480 30fpsを選択するとき、録画ファイルは4GB容量を超えることができません。

動画画像サイズを640x480(120fps)に設定すると、撮影時間は30秒、再生 時間は2分になります。

640x480 120fpsを選択した場合、音声の記録はできません。

画質

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、記録する枚数は少なくなります。

4種類のメニューから選択することができます。

- RAW+JPG
  2種類の画像を同時に記録します。一枚RAWと一枚精細相当のJPG画像（画像サイズを16Mに設定した場合、平均ファイルサイズ：29.1MB+6.0MB）
- RAW
  画像は未加工の状態で、データを保存し、PCで処理や編集ができます（画像サイズを16Mに設定した場合、平均ファイルサイズ：29.0MB)。
- JPG標準（画像サイズを16Mに設定した場合、平均ファイルサイズ：2.6MB）
- JPG精細（画像サイズを16Mに設定した場合、平均ファイルサイズ：5.9MB）

画質を設定する

RAWあるいはRAW+JPGを設定したときは、色彩効果、連写、高速連写、HDR、HDR PROとWBブラケティングを設定することができません。

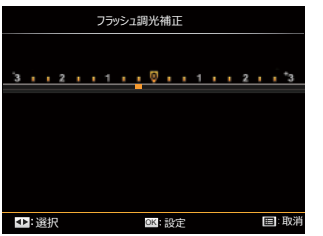
(OK) ボタンを押す

RAWファイルとは、デジタル処理などの加工をしていない形式の生データです。本機で撮影したRAW画像を開くには CD-ROM（付属）の「PhotoStudio Darkroom」を使うと、RAW画像を開いた後、画像処理を行えます。PhotoStudio DarkroomはWindows vista/7/8 & iOS (v10.6.8-v10.8)のOSに対応しています。

フラッシュ調光補正

フラッシュ調光補正は、フラッシュの発光量を調整して、被写体の明るさを変えます｛調整可能範囲は、±3 EV(1/3ステップ刻み)｝。

機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶⚡/☯]を押して、フラッシュの発光量を調整し、(OK)ボタンを押して設定を確定します。



フラッシュが未装着、未設定の場合には、フラッシュ調光補正を調整することができません。

一般設定

「一般設定」6種類のメニューから選択することができます。

- サウンド設定
- 省電力
- 液晶の明度
- Language/言語
- ワールドタイム
- 日付/時刻

サウンド設定

電源オン/オフ時の操作音およびシャッター作動音を調整することができます。

機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、操作音量を調整し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。液晶画面をオフにすると、カメラは一定時間の後自動的に停止状態になります。

3種類のメニューから選択することができます。

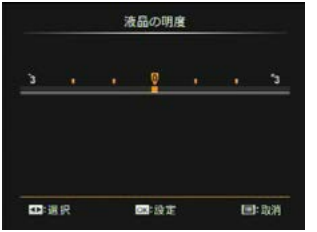
- 自動
- 普通
- 最大

省電力	液晶モニターが閉じる時間	電源がオフになる時間
自動	3 min	5 min
普通	1 min	3 min
最大	30 s	1 min

液晶の明度

この設定により、液晶画面の明るさを調整することができます。

機能ボタン左[◀AE-L/AF-L]/右[▶/]を押して、液晶の明度を調整し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。



言語設定

27ページの「言語設定」を参照してください。

ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。この機能により、海外にいる間、液晶画面に現地時間を表示することができます。

1. 機能ボタン上 [▲/]/下[▼Info] を押して、 自宅を選択し、機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/] を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。
2. 機能ボタン上 [▲/]/下[▼Info] を押して、 現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/] を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。都市を設定するだけで時差は自動的に処理されます。

日時設定

28ページの「日時設定」を参照してください。

ファイル・ソフトウェア

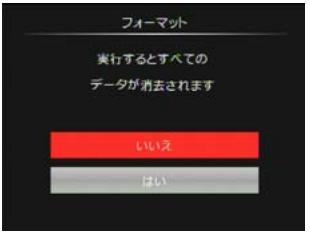
「ファイル・ソフトウェア」6種類のメニューから選択することができます。

- フォーマット
- カードへコピーする
- ファイル番号
- リセット設定
- バージョン
- センサークリーニング

フォーマット

フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。
2種類のメニューから選択することができます。

1. 機能ボタン上[▲ /]/下[▼**Info**]を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、(OK)ボタンを押して、設定を確定します。



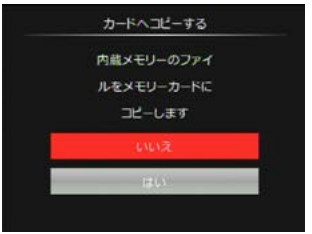
2. 「はい」を選択した場合、メモリーがフォーマットされます。

新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用の前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。

メモリーカードが装填されている場合は、メモリーカードのみがフォーマットされ、内蔵メモリーはフォーマットされません。

カードへコピーする

この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。

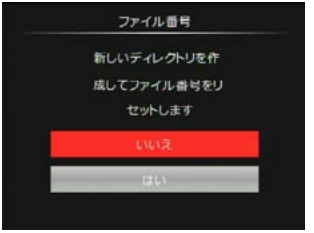


2種類のメニューから選択することができます。

カメラにメモリーカードを装填しない場合は、「カードへコピーする」項目は表示されません。

ファイル番号

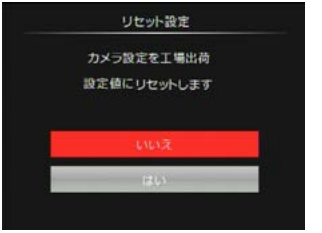
静止画または動画を記録した後、カメラはメモリーカードにファイルを自動的に保存します。保存するとき、数字が撮影した最後の画像から続くか、新たにカウンタを1にリセットして、新しいフォルダに保存するかを決定することができます（メモリーカード内のファイルが、9999を越えて、最後のファイルの写真が、999枚を越えた場合、「フォルダー番号が最大値になっています」と警告が表示されます）。



2種類のメニューから選択することができます。

リセット設定

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

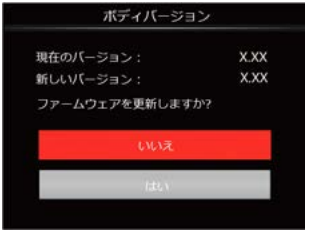


2種類のメニューから選択することができます。

バージョン

現在のカメラとレンズのファームウェアバージョンの表示を行ないます。

新ファームウェアーバージョンをインストールした、メモリーカードを装填したとき、下図と同様の画面が表示されます。表示内容に従って、新しいバージョンを更新することができます。



センサークリーニング

高速振動させて、撮像素子やローパスフィルターに付着したほこりやゴミを洗浄することができます。

自動クリーニング

「自動クリーニング」をオンにする後、電源ボタンを長押しして、カメラをオフにしてカメラは自動的にセンサーを洗浄します。

2種類のメニューから選択することができます。

今すぐクリーニングする

［はい］を選択すると、すぐ自動的に洗浄が開始されます。洗浄が終了すると、カメラの電源は自動的にオフになります。

2種類のメニューから選択することができます。

カメラを平面な場所に置いて洗浄をおこなうと、効果的にほこりやゴミを除去できます。

レンズが付いていない状態でも洗浄を行なうことができます。

自動洗浄でほこりやゴミを除去できなかったとき、市販の専用レンズブロアーを使用して除去することができます。

① 撮像素子の前面にあるローパスフィルターに直接触れたり、ブロアーが当たらないに、細心の注意を払って清掃してください。

② 高圧のエアーやガスを使用しての清掃はしないでください。ローパスフィルターや撮像素子に傷がついたり、破損させることがあります。

③ 洗浄やブロアーでほこりやゴミを除去できないときは、販売店あるいは修理受付窓口に問い合わせください。

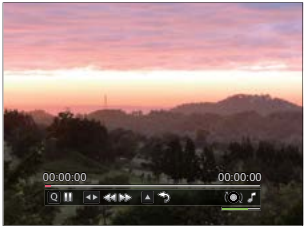
8 静止画と動画を見る

液晶モニターで撮影された静止画や動画を見ることができます。

1. 撮影モードの状態で、(▶) ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左 [◀AE·L/AF·L]/右[▶/] を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、(OK) ボタンを押して動画再生モードに入ります。

動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/] と (OK) ボタンを押して、操作機能の変更ができます。

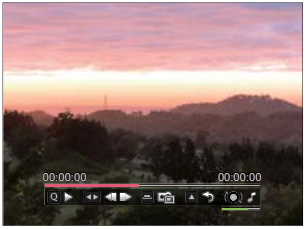
再生中



Q	一時停止
◀	巻き戻し
▶	早送り
△	再生を取消す

	時計回りの方向で音量を上げる 反時計回りの方向で音量を下げる
	音量
	消音

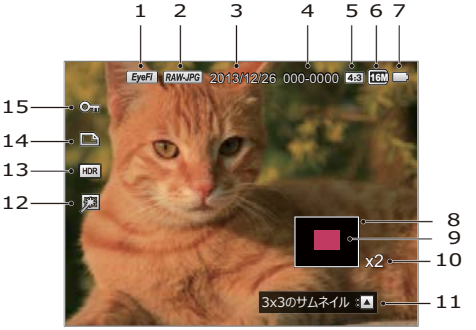
一時停止中

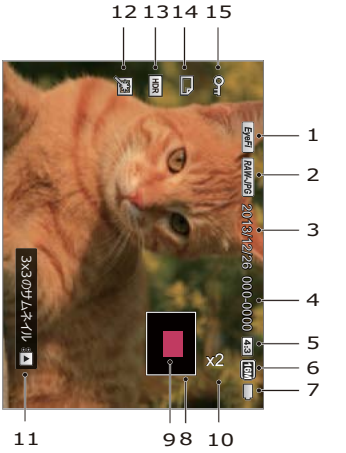


Q	再生
◀	巻き戻し
▶	早送り
	動画再生中の画像を撮影する
△	再生を取消す

動画再生中に一時停止したときの画像を、レリーズボタンを全押しして撮影することができます。

再生モード時の液晶モニター画面表示



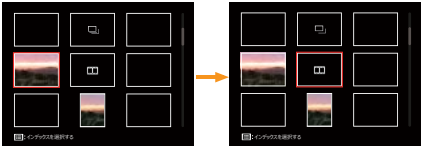


1	Eye-Fi 表示(送信)	9	画面位置表示（案内マーク）
2	画質	10	画像の倍率
3	撮影日時	11	サムネイル表示
4	フォルダー番号 - ファイル番号	12	赤目軽減
5	アスペクト比	13	HDR
6	画像サイズ	14	DPOF 印刷
7	電池残量表示	15	保護
8	縮小液晶モニター		

サムネイルビュー

再生モードで、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。

1. 機能ボタン上[▲/]を押して、3x3（9コマ）のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン上［ ▲/ ］/下［ ▼Info ］、左［ ◀AE-L/AF-L ］/右［ ▶/ ］を押して、静止画または動画を選択することができます。(OK) ボタンを押すと、再生画面に戻ることができます。



3. (MENU) ボタンを押して、インデックスメニューが表示されます。
4. 機能ボタン左［ ◀AE-L/AF-L ］/右［ ▶/ ］を押して、メニューを選択し、(OK) ボタンを押します。

「インデックス」4種類のメニューから選択することができます。

- 一枚
- 日付フォルダー
- 連写グループ
- スライドショー

液晶モニターに のアイコンが表示されるときは動画画像です(サムネイル画像を含む)。

液晶モニターに のアイコンが表示されるときは高速連写画像です。

画像を消去する方法

再生モードで、消去ボタン を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去

1. ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. ボタン を押すと消去画面が表示されます。

4. 機能ボタン上[▲/]/下[▼**Info**]を押して、「1枚消去」または「取消」を選択し、ボタンを押して、設定を確定します。

消去された静止画/動画は回復することができません。

すべての画像を一括消去する、または日付フォルダーごと消去する方法は98ページをごらんください。

再生モード時の確定ボタンメニュー (OK)

モード：(▶)

1. 再生モードで静止画を選択して、(OK) ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。

   「再生モード時の確定ボタンメニュー」5種類のメニューから選択することができます。

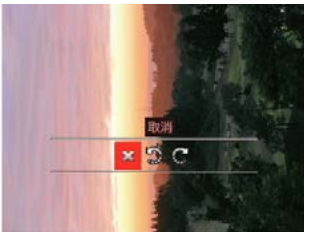
   - 回転
   - 色彩
   - HDR
   - 最適化
   - 画像サイズの変更（リサイズ）

2. 機能ボタン上[▲⏱/🖼]/下[▼**Info**]を押して、変更するメニューを選択し、(OK) ボタンを押します。

3. 機能ボタン左[◀**AE·L/AF·L**]/右[▶🖼/☯]を押して、サブメニューを選択し、(OK) ボタンを押して、設定を確定します。

回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。



3種類のメニューから選択することができます。

- ✕ 取消
- ↺ 左回転
- ↻ 右回転

パノラマ合成した画像、動画、タイムラプス動画を回転させることはできません。

回転して変更した画像のみメモリーカードに保存されます。

色彩

この設定により、色彩を変更できます。画像にアート効果が追加され、さまざまな色の組み合わせを楽しめます。変更した画像は、新しい写真として元の画像と共に保存されます。

12種類のメニューから選択することができます。

- 取消
- 鮮明
- 白黒
- ドリーム
- ぼかし
- スタジオ
- パンク (4M)
- ネガ (8M)
- 反射
- 魚眼
- 4グリッド – スタイリッシュ(2M)
  標準+暖かい黄色+新和風式+冷たいグリーン4種類スタイリッシュの組み合わせ効果
- 4グリッド – 部分的カラー (2M)
  青/黄/緑/赤 4種類単色から抽出したスタイリッシュの組み合わせ効果

HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。

2種類のメニューから選択することができます。

- ⛒ 取消
- HDR HDR

パノラマ合成した画像をHDRさせることはできません。

[HDR] を選択して画像をHDR最適化します。

HDR機能で最適化した画像と変更前の元の画像は共にメモリーカードに保存されます。

最適化

カメラには赤目軽減の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を軽減します。又顔をより美しくする機能もあります。

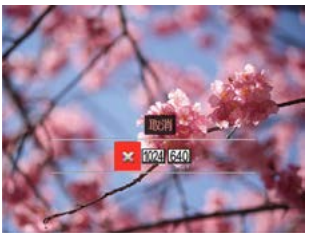
5種類のメニューから選択することができます。

- 取消
- 赤目軽減
- 肌色
- 目を明るく
- 目を大きく

[ ] を選択して画像を赤目軽減します。

画像サイズの変更（リサイズ）

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。



3種類のメニューから選択することができます。

- 取消
- 1024 1024x768 にサイズ変更
- 640 640x480 にサイズ変更

サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

元の画像サイズが、「640X480」より小さい場合は、サイズ変更することはできません。

回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。

パノラマ画像は、サイズ変更できません。

再生設定メニュー

モード：P S A M SCN CS

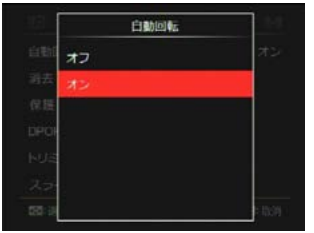
1. 撮影モードで MENU ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左 [◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、 を選択します。
3. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info] を押して、メニューを選択し、 OK ボタンを押します。
4. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info] を押して、サブメニューを選択し、 OK ボタンを押して設定を確定します。

「再生設定」6種類のメニューから選択することが出来ます。

- 自動回転
- 消去
- 保護
- DPOF
- トリミング
- スライドショーを実行する

自動回転

自動回転の設定をオンにしたとき、撮影した画像は再生時、自動的に立像になるように調整します。



2種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- オン

消去

画像または画像ファイルを消去することができます。

4種類のメニューから選択することができます。

- 一枚
  選択した画像を消去します。
- 日付フォルダー
  日付フォルダー内の画像を消去します。
- 連写グループ
  連写グループ内の画像を消去します。
- すべて
  すべての画像を消去します。

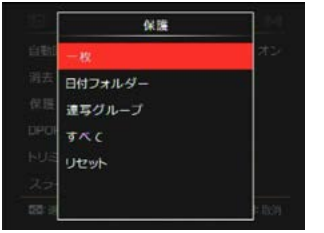
保護アイコン が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

連写グループと日付フォルダーで、消去を選択した場合、保護されている画像以外はすべて消去されます。

保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。



5種類のメニューから選択することができます。

- 一枚
  選択した画像を保護します。
- 日付フォルダー
  日付フォルダー内の画像を保護します。
- 連写グループ
  連写グループ内の画像を保護します。
- すべて
  すべての画像を保護します。
- リセット
  すべての画像の保護を解除します。

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOF により印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。

3種類のメニューから選択することができます。

- 一枚
  プリント予約（画像、枚数、日付等）をする画像を一枚づつ選択します。
- すべて
  すべての画像をプリント予約します。
- リセット
  プリント予約を解除します。

印刷には、DPOF対応プリンターをご使用ください。

トリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

1. サブメニュー表示の「はい」を選択して、トリミングを確定します。[**Fn1**]を押し、あるいは スクロールダイヤルを回して、アスペクト比を選択し、機能ボタン上 [▲/]/下[▼**Info**]/左[◀**AE-L/AF-L**]/右[▶/]を押して、切り取る部分を確定します。

2. (OK) ボタンを押して、「変更を保存しますか？」と表示されます。「」あるいは「」を選択して、(OK) ボタンを押して、設定を確定します。

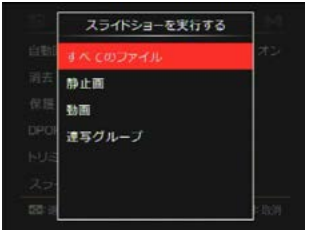
画像サイズが「640×480」以下の場合はトリミングできません。

動画ファイル、RAWファイルおよび保護されている画像は、トリミングできません。

トリミング生成した画像は、再度トリミングできません。

スライドショーを実行する

この設定により、保存されている画像をスライドショーとして表示できます。



4種類のメニューから選択することができます。

- すべてのファイル
  メモリーカードに保存されているすべてのファイルをスライドショーします。
- 静止画
  メモリーカードに保存されている静止画のみスライドショーします。
- 動画
  メモリーカードに保存されている動画のみスライドショーします。
- 連写グループ
  メモリーカードに保存されている高速連写画像のみスライドショーします。

機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、取消あるいは3種類のメニューから選択することができます。(OK) ボタンを押して設定を確定します。

- 取消
- タイプ1：間隔1秒、フェードアウト
- タイプ2：間隔1秒、左右入替
- タイプ3：間隔1秒、ブロック

メモリーカード内に高速連写画像がないとき、連写グループを選択すると、「連写モード内に高速連写の画像がありません」と表示されます。

再生モードで各パラメーターの設定

メニュー＼モード		再生		
		静止画	パノラマ動画	動画
回転	調整	○	X	X
	出荷時	オフ	オフ	オフ
画像サイズの変更	調整	○	X	X
	出荷時	オフ	オフ	オフ
色彩	調整	○	X	X
	出荷時	オフ	オフ	オフ
最適化	調整	○	X	X
	出荷時	オフ	オフ	オフ
HDR	調整	○	X	X
	出荷時	オフ	オフ	オフ
自動回転	調整	○	X	○
	出荷時	オン	オン	オン
消去	調整	○	○	○
	出荷時	一枚	一枚	一枚

メニュー＼モード		再生		
		静止画	パノラマ動画	動画
「1」	調整	○	○	○
	出荷時	すべてのファイル	すべてのファイル	すべてのファイル
「2」	調整	○	○	○
	出荷時	タイプ1	タイプ1	タイプ1
保護	調整	○	○	○
	出荷時	一枚	一枚	一枚
DPOF	調整	○	○	X
	出荷時	一枚	一枚	一枚
トリミング	調整	○	X	X
	出荷時	戻る	戻る	戻る

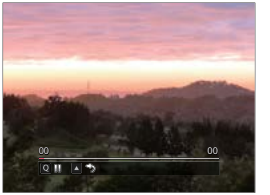
「1」は「スライドショーを実行する」です。
「2」は「スライドショー効果」です。

連写の再生

高速連写（4M）で撮影した画像を再生して見ることができます。

1. 撮影モードで (▶) ボタンを押します。
2. 機能ボタン左[◀**AE-L/AF-L**]/右[▶/☯] を押して、高速連写画像を選択します。
3. プレーを開始するには、(OK) ボタンを押してください。

高速連写画像



再生中

一時停止

Q II	一時停止
△ ↩	再生を取消す（フルサイズで高速連写画像の再生画面に戻ります）

再生中

▽ ▷	再生の再開
◁ ◁II	前の画像へ（高速連写画像のみ）
▷ II▷	後の画像へ（高速連写画像のみ）
△ ↩	再生を取消す（フルサイズで高速連写画像の再生画面に戻ります）

一時停止

タイムラプス動画の再生

タイムラプス動画で撮影した画像を再生して見ることができます。

1. 撮影モードで (▶) ボタンを押します。
2. 機能ボタン左[◀AE-L/AF-L]/右[▶/☯] を押して、タイムラプス動画を選択します。
3. プレーを開始するには、(OK) ボタンを押してください。

タイムラプス動画

再生中

一時停止

Q II	一時停止
◁ ◁◁	巻き戻し
▷ ▷▷	早送り
△ ↩	再生を取消す

再生中

Q ▷	再生の再開
◁ ◁II	巻き戻し
▷ II▷	早送り
△ ↩	再生を取消す

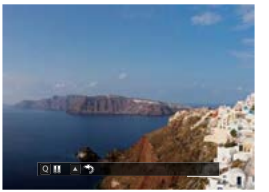
一時停止

パノラマ動画再生

パノラマ動画の再生は、液晶モニターに撮影した方向で、フルサイズの画像が表示されます。再生終了後は、静止画のパノラマ画像に戻ります。

1. 撮影モードで (▶) ボタンを押します。
2. 機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、パノラマ動画の画像を選択します。
3. (OK) ボタンを押して、撮影した方向に沿って再生が開始します。

パノラマ動画



再生中

一時停止

Q II	一時停止
△	再生を取消す

パノラマ動画再生中に、機能ボタン上 [▲/] を押すと、再生を中止して、再生画面に戻ります。

パノラマ動画再生で自動回転はできません。

スライドショー再生

この設定により、保存されている画像をスライドショーとして表示できます。

1. 撮影モードで (▶) ボタンを押します。
2. 機能ボタン上[▲⏲/🖼]を押して、3x3（9コマ）のサムネイル画像が表示され、(☰) ボタンを押してインデックス画面が表示されます。
3. 機能ボタン左[◀**AE-L**/**AF-L**]/右[▶🖼/☯]を押して、スライドショーを選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

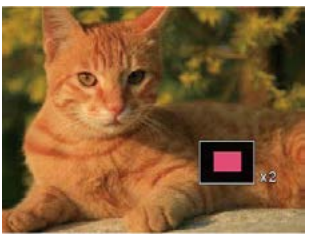
4. 機能ボタン左[◀**AE-L**/**AF-L**]/右[▶🖼/☯]を押して、スライドショー効果を選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

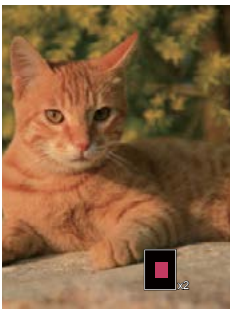
幻燈片

画像を拡大する（静止画専用）

撮影した画像を拡大（最大 8x）して見ることができます。

1. ▶ ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、拡大する静止画を選択します。
3. [Fn1]ボタンを押して、拡大画面が表示されます。
4. [ ]スクロールダイヤルを時計回りあるいは反時計回りに回して、画像を拡大、縮小させることができます。
5. 液晶モニター右下に倍率（2.0X）が表示されます。また、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、赤色）が表示されます。





6. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]、左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、お好みの場所を見ることができます。
7. OK ボタンを押して、フルサイズ表示で再生画面に戻ります。

9 カメラ接続

モード：P S A M SCN CS

1. 撮影モードで (MENU) ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左 [◀AE-L/AF-L]/右[▶/]を押して、 を選択します。
3. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info] を押して、「USB」を選択し、(OK) ボタンを押します。
4. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info] を押して、「PC」を選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

「カメラ接続」4種類のメニューから選択することができます。

- USB
- テレビシステム
- Eye-Fi
- HDMI CEC 制御

PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するためにUSBケーブルを使います。

USBモードを設定する

カメラのMicro USB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

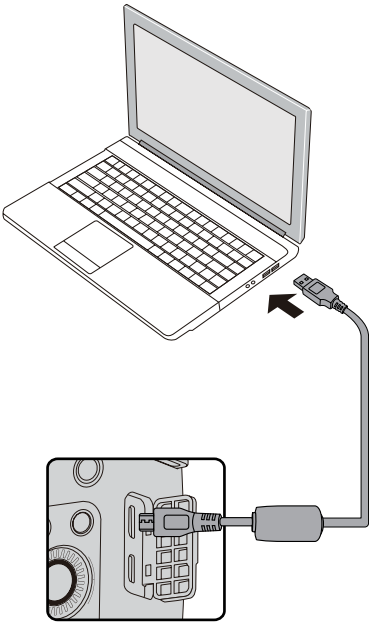
1. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、「USB」を選択し、(OK) ボタンを押します。
2. メニューで、機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、「PC」を選択し、(OK) ボタンを押します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、一般的なフォルダーやファイルをコピーするPCのディレクトリにドライブのフォルダーとファイルをコピーします。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. PCとカメラの電源がオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのMicro USB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。
4. 送信が完了したら、USB機器の安全な取り外し方法が記載してある取扱説明書に従ってUSBケーブルを取り外します。



PictBridge互換プリンターに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

USBモードを設定する

カメラのMicro USB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定がされていることを確認します。

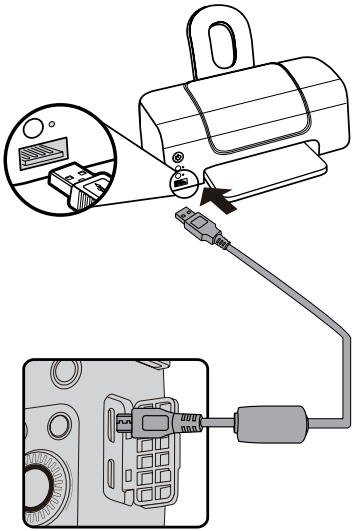
1. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、「USB」を選択し、(OK) ボタンを押します。
2. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info] を押して、「プリンター」を選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。

PictBridgeメニューの設定は、113ページを参照してください。

カメラとプリンターを接続する

1. プリンターの電源がオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのMicro USB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。



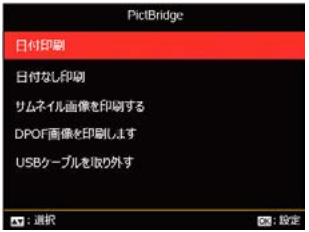
カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。

USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5種類のメニューが表示されます。

1. 日付印刷
2. 日付なし印刷
3. サムネイル画像を印刷する
4. DPOF画像を印刷します
5. USBケーブルを取り外す



機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、PictBridgeメニューを選択します。

日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. メニューから「日付印刷」を選択すると次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左[◀AE·L/AF·L]/右[▶/]を押して、日付印刷する画像を選択します。

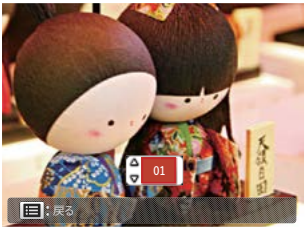
3. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. (OK) ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(OK) ボタンを押して、設定を確定します。

日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

1. メニューから「日付なし印刷」を選択すると次の画面が表示されます。



2. 機能ボタン左[◀AE-L/AF-L]/右[▶/]を押して、日付なし印刷する画像を選択します。
3. 機能ボタン上[▲/]/下[▼Info]を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. (OK) ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(OK) ボタンを押して、設定を確定します。

サムネイル画像を印刷する

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. メニューから「サムネイル画像を印刷する」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(OK) ボタンを押して、設定を確定します。

DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください（100ページのDPOFを参照してください）。

1. メニューから「DPOF画像を印刷します」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(OK) ボタンを押して、設定を確定します。

USBケーブルを取り外す

メニューを終了するには、「戻る」を選択します。画面に「USB ケーブルを外してください」メッセージが表示されます。

カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

テレビシステム

AVケーブル (別売り USBC−BK01) を使用して、ビデオ/テレビに接続します（詳細については、ビデオ/テレビの説明書を参照してください）。

1. テレビとカメラの電源をオンにします。
2. AVケーブルの一端をテレビの映像入力端子（音声入力端子）に接続し、他端をカメラのMicro USB端子に接続します。

次の手順でテレビ出力信号を設定することができます。

1. 機能ボタン上[▲/]/下[▼**Info**]を押して、「テレビシステム」を選択し、(OK) ボタンを押します。
2. 機能ボタン上[▲/]/下[▼**Info**]を押して、「NTSC」あるいは「PAL」を選択し、(OK) ボタンを押して設定を確定します。

NTSC: 英語、中国語繁体、日本語、フランス語、韓国語、ロシア語、ベトナム語、ギリシア語、ハンガリー語。

PAL: ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語簡体、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、フィンランド語、インドネシア語、ノルウェー語、オランダ語、トルコ語、ポーランド語、ドイツ語、クロアチア語、チェコ語、アラビア語、ヒンディー語

カメラの言語設定により、テレビ出力信号「NTSC」あるいは「PAL」は、自動的に設定されます。

Eye-Fi カード接続モード

このカメラは、Eye - Fi カードの無線接続をサポートしています。

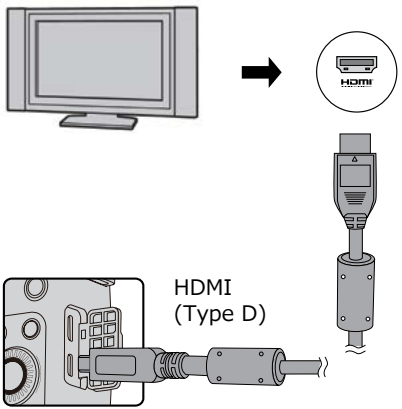
使用する前に、Eye-Fiカードの取扱説明書をよくお読みください。

Eye-Fiカードを海外で使用する場合、その国の法律にしたがってご使用ください。

使用を禁止されている場所（飛行機等）では、送信設定を「オフ」にしてください。

HDMI接続のサポート

HDMI(ハイ ディフィニション マルチメディア インターフェイス)は完全なデジタルビデオ/オーディオ送信インターフェイスで、これを通して圧縮されていない音声および画像信号が送信されます。



カメラをHDMI TVに接続する

1. HDMIケーブル(Type D_別売り)を使用して、カメラをHDMI付き TVに接続します。
2. カメラが自動的に検出し、現在の解像度を判断します。
3. HDMIを接続した後、画像の再生モードに入ってください。

接続する前にテレビとカメラの電源をオンにしてください。

HDMI CEC 制御

カメラをテレビに接続して、テレビの画面で、撮影した画像を見ることができます。テレビのリモコンを使用し、カメラを操作して、画像の再生と編集を行なうことができます。

HDMI CEC機能をサポートしているテレビを使用してください。

カメラとテレビの接続が終了した後、カメラの電源ボタン以外のボタンを押さないでください。操作ができなくなり、カメラの液晶モニターは消灯します。

テレビ設定の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

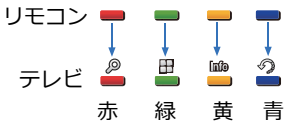
アイコン紹介

1. Infoメッセージ未表示/表示
2. 拡大
   : 画像を拡大する
   : 画像を縮小する
3. 画像を回転する
   : 左向きのみ回転する
4. 画像のインデックス
   : 5*3インデックス再生
   : 10*5インデックス再生
   : 3*1日付フォルダーインデックス
   : 5*3 高速連写画像のインデックス
5. 戻る
6. スライドショーを実行する
7. ボタンは前/後の画像へ切り換える
8. 動画ファイル
9. タイムラプス動画ファイル
10. 00:00:00 動画の長さ
11. 高速連写画像
12. : 最初画像のマーク
13. 000/000 : 高速連写画像の番号/高速連写画像の全部枚数
14. : 効果を確認する
15. : 変更しない

HDMI CEC再生モードで、以下の操作を行うことができます。

- 一枚1:1の再生
- 画像を拡大する
- 回転
- インデックスの再生
- 高速連写画像の再生
- スライドショーの再生
- 動画ファイルの再生
- タイムラプス動画の再生
- パノラマ動画の再生
- 画像の編集

テレビで使用しているリモコンの4色のボタンを押して、テレビに対応している機能を実現することができます。



一枚1:1の再生

左右方向ボタンを押して、前/後の画像へ切り換えることができます。

画像を拡大する

一枚1:1再生で、赤色のボタンを押して、画像の拡大画面が表示されます。リモコンの赤色と緑色のボタンを押して、画像の拡大/縮小を行うことができます。

回転

一枚1:1再生で、青色ボタンを押して、一枚の画像を回転させることができます。

インデックスの再生

一枚1:1再生で、緑色のボタンを押して、インデックスの再生画面が表示されます。中央のボタンを押して、静止画の選択画面が表示されます。方向ボタンを押して、画像を選択することができます。中央のボタンを再度押して、一枚1:1再生画面に戻ることができます。

5*3インデックス再生で、緑色のボタンを押して、インデックスの選択画面が表示されます。左右方向ボタンを押して 、、 と から選択することができます。中央のボタンを押して設定を確定します。

高速連写画像の再生

一枚1:1再生で、中央のボタンを押して、高速連写画像を再生します。

カメラに高速連写画像がない場合に、インデックス再生画面の を選択すると、「連写モード内に高速連写の画像がありません」が表示されます。

スライドショーの再生

一枚1:1再生で、下方向ボタンを押して、スライドショーの再生画面が表示されます。再生中、左右方向ボタンを押して、前/後の画像へ切り換えることができ、中央のボタンを押して再生を終わります。

動画の再生

一枚1:1再生で、動画ファイルを選択し、中央のボタンを押して再生を開始します。再生中、画面に表示される提示により、方向ボタンと中央のボタンを押して、早送り、巻き戻し、一時停止、再生回復などの操作を行うことができます。

タイムラプス動画の再生

動画の再生と同じです。タイムラプス動画の再生には音声がありません。

パノラマ動画の再生

一枚1:1再生で、パノラマ動画を選択して、中央のボタンを押して、再生を開始します。

画像の編集

画像の編集で、多様の編集を行うことを反復することができます。一枚の効果画像だけを最後に保存します。

一枚1:1再生で、静止画を選択し、上方向ボタンを押して、画像の編集画面が表示し、顔検出を開始します。

上方向ボタンを押して、HDRの編集を行います。

下方向ボタンを押して、一枚消去を行います。

左右方向ボタンを押して、色彩効果の編集を行い、12種類のモードから選択することができます。

顔を検出すると、美肌機能を表示することができます。3種類のメニューの色ボタンを押して、編集することができます。

：肌色

：目を大きく

：目を明るく

編集機能表
（○ サポート　X サポートなし）

	HDR	色彩効果	美肌	消去
普通 (顔)	○	○	○	○
普通 (顔なし)	○	○	X	○
パノラマ	X	X	X	○
タイムラプス	X	X	X	○
動画	X	X	X	○

HDMI CEC接続操作

機能	フルサイズの再生	拡大の再生	インデックスの再生	動画/タイムラプス動画の再生	高速連写画像の再生	パノラマ動画の再生
拡大	○	○ 拡大中上下左右向きに移動できる	X	X	X	X
縮小	X	○	X	X	X	X
回転	○ 左向きのみ回転する	X	X	X	X	X
スライドショーの再生	○	X	X	○	○	○
画像の編集	○ *1	X	X	X	X	X
Info メッセージ未表示/表示	○	○	X	○ *2	○ *2	○ *2
消去	○	X	X	○ *3	○ *3	○ *3

*1 顔を検出すると、美肌機能を表示することができます。

*2 再生前/中/一時停止中、行うことができます。

*3 画像の編集画面が表示された後、1個のファイルを消去することができます。

10 付録

カメラ仕様

外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。

型式		レンズ交換式デジタルカメラ		
レンズマウント		マイクロフォーサーズマウント		
撮像素子	形式	4/3型 CMOSセンサー		
	カメラ部有効画素数	1683万画素		
手ブレ補正		センサーシフト		
記録画素数（画像サイズ）	静止画	(4:3) 16MP: 4640×3480 10MP: 3648×2736 4MP: 2336×1752 3MP: 2048×1536 0.3MP: 640×480	(3:2) 14MP: 4608×3072	(16:9) 12MP: 4608×2592 2MP: 1920×1080
	動画	(FULL HD) 1920×1080, 30fps	(HD) 1280×720, 60fps 1280×720, 30fps	(VGA) 640×480, 30fps
		高速モード:（VGA）640×480, 120fps		

デジタルズーム		2倍、4倍
ファイルシステム		DCF 1.0，DPOF，Exif 2.3，PictBridge
ファイル形式	静止画	JPG（精細，標準），RAW，RAW+JPG
	動画	画像圧縮：MOV（H.264)、音声：リニアPCM「ステレオ」
撮影モード		自動シーンモード、プログラムAE、シャッター優先、絞り優先、手動モード、シーンモード[パノラマモード、手持ち夜景、美肌、多重露光、ペットモード犬/猫、雪、パーティー、スポーツ、夜景ポートレート、ポートレート、子供、風景、夕日、花火]、Wi-Fiモード、カスタム設定
パノラマ動画		0°～360°
液晶モニター		3.0インチ TFTカラー液晶モニター（920k ピクセル）、傾斜調整式
ISO感度		自動，ISO 200/400/800/1600/3200/6400/12800
AF方式		シングルAF、コンティニュアスAF、マニュアルフォーカス、オート+マニュアルフォーカス
AFエリア		1点エリアフォーカス、25点エリアフォーカス、顔検出、マニュアルエリアフォーカス
AE/AF ロック		○
AF アシストビーム		○

測光方式	AiAE、中央部重点、スポット、マルチ、顔AE
露出制御方式	プログラムAE（AEロック可能）、シャッター優先、絞り優先、手動モード
測光範囲	EV 0~16 (F3.5, ISO200)
露出ブラケティング	手動：1/3 段ステップ±3 段
	AEB：1/3 段ステップ±2 段
シャッター形式	機械式、電子制御式、フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/4000秒～30秒、バルブ撮影（手動 30分）
連写	○
再生モード	一枚表示、サムネイル（9/16 ）、撮影日付、連写グループ、ズーム（約 2倍～8倍）、スライドショー（静止画/動画/静止画+動画）
ホワイトバランス	オートホワイトバランス、晴天、曇天、日陰、蛍光灯、 蛍光灯 H、白熱電球、手動ホワイトバランス、色温度の設定（1900K～10000K）、WBブラケティング

フラッシュ	フラッシュ方式	Pop-up（手動）、外部フラッシュ
	フラッシュモード	発光禁止/強制発光/自動発光/赤目軽減/スローシンクロ/スローシンクロ+赤目軽減/後幕シンクロ
色彩効果		普通/鮮明/白黒/ドリーム/ぼかし/Ektachrome/Kodachrome/Kodacolor/スタジオ/パンク/ネガ/反射/スケッチ/魚眼/４グリッドースタイリッシュ/４グリッドー部分的カラー
OSD		多言語のサポート（27言語）
PC 端子		USB 2.0
コネクター	HDMI	HDMI Type-D
	フラッシュアクセサリー	アクセサリーシュー

Eye-Fi	○
Wi-Fi	○（802.11 b/g/n）
リモートビューファインダー	○（スマートデバイスに表示されます）
電源	充電式 Li-ion電池 LB-070, 7.4V 1000mAh、（本体装填で充電可）
撮影枚数（電池寿命）	約 410 ショット（KODAK PIXPRO SZ ED 12-45mm F3.5-6.3 AF レンズを使用する場合） （CIPA標準に基づく）
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：90%以下（結露しないこと）
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)	約 115.7×67.4×35.6mm
質量	約 290g（本体のみ）

エラーメッセージ

メッセージ	説明	リセット方法
警告! 電池残量がなくなりました	カメラの電池容量がなくなりました。 カメラがシャットダウンすることを示す警告です。	バッテリーを充電してください。
内蔵メモリーエラー	内蔵メモリーにエラーが発生しました。	内蔵メモリーをフォーマットしてください。
警告! 更新中はカメラの電源を切らないでください	ファームウェアを更新するときに表示されます。	ファームウェア更新後、カメラがオフして表示が消えます。
接続に失敗しました	PC、プリンター、テレビ（ビデオ）への接続が失敗しました。	一旦、ケーブルを取り外し接続を解除し、再度接続してください。
このレンズはサポートされていません	取り付けたレンズはこのカメラで使用することができません。	サポートしているレンズに交換してください。
このモード下では設定を変更できません	Fn1/Fn2ボタンに設定されている機能が撮影モードに対応していません。	撮影モードを変更するかFn1/Fn2の設定を変更します。

メッセージ	説明	リセット方法
このキャプチャで*****Mに制限されている静止画画像サイズ	Fn1/Fn2で、画像サイズを設定しているときに、画像サイズが制限されている設定メニュー（ ⓞ ）を選択して、Fn1/Fn2ボタンを押したとき表示されます。	Fn1/Fn2の設定を変更します。
画面が一致しませんもう一度やり直してください	パノラマモードの構図を決めるときカメラの移動角度のズレが大きいです。	撮影中は水平に移動します。
この色彩効果は動画撮影に適していません	ⓞ ボタンを押して、色彩効果（普通、ドリーム、ぼかし、Kodacolor、スタジオ、反射、スケッチ、魚眼、4グリッド – スタイリッシュ、4グリッド –部分的カラー）を選択したときは、動画撮影に適していません。	ほかのフィルターに変更します。
撮影枚数が上限に達しました	録画中に静止画を撮影するとき、撮影した画像が15枚を超えた場合は、このメッセージが表示されます。	一度録画を停止してから再び録画します。

メッセージ	説明	リセット方法
レンズ信号をリンクできません	レンズを認識できません。	レンズを取り付け直してください。
レンズの状態を確認して下さい	レンズが収納状態です。	ズームリングを回して、焦点距離「12」をズーム指標に合わせてください。
書込み保護	メモリーカードが書き込み保護されています。	メモリーカードの書き込み保護スイッチのロックを解除してください。

メッセージ	説明	リセット方法
メモリーカードの残量がありません	メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
内蔵メモリーの残量がありません	内蔵メモリーがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
フォルダー番号が最大値になっています	SDカードのフォルダー番号が最大値（999）に達しています。	SDカードをフォーマットするか新しいSDカードに交換してください。
カードエラー	・メモリーカードのフォーマットを識別または読み込みできません。 ・SDXCメモリーカードが装填されています。	新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードが装填されているか、PCなどでフォーマットされたSDカードが装填されています。	メモーリーカードをフォーマットしてください。

メッセージ	説明	リセット方法
SDHC メモリーカード（クラス4以上）をおすすめします	HD動画の録画に、Class4以前のSDカードを使用すると、書き込み速度が遅くなり、録画を継続できなくなります。	SDカードはClass4以上のものを使用してください。
SDカードに書き込むことができません	撮影した画像をSDカードに保存できません。	SDカードを交換します。
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。	表示は 2秒後に消え、撮影画面に戻ります。
連写モード内に高速連写の画像がありません	高速連写の画像がフォルダーにないときに表示します。	表示は 2秒後に消え、直前のメニューに戻ります。
赤目現象はありません	画像を最適化するとき、赤目の現象は画像から検出されません。	表示は 2秒後に消え、最適化メニューに戻ります。

メッセージ	説明	リセット方法
画像が多すぎて処理できません	日付別に再生しているとき、画像が多すぎて、日付別に再生できなくなりました（メモリーカードの画像が5000枚を超えた場合）。	不要な画像を削除することで、表示できる場合があります。
ファイルを認識できません	画像フォーマットがサポートされていません。画像が損傷しています。	他社のカメラやPCでは再生できる場合があります。
保護されています! 消去できません!	画像は保護されています。	消去する前に、保護を解除してください。
この画像は編集できません	損傷しているファイルまたは他社カメラで撮影された画像を再生するとき、㊙ ボタンを押して表示されます。	ほかの写真を選択してください。
顔が検出されていないため、編修できません!	顔が写っていない画像は最適化メニューで編集することができません。	フェースがある写真を選択します。

困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラが起動しない。	■ 電池切れです。 ■ 電池が正しく装填されていません。	■ 新しい電池と交換してください。 ■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 ■ 電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を装填します。
操作中にカメラが突然オフになる。	■ 電池切れです。	■ 新しい電池と交換してください。 ■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。
写真がぼやける。	■ レンズが汚れています。 ■ 手ブレ、被写体ブレになっています。	■ 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。 ■ OIS 手ブレ補正を有効します。
静止画、動画を保存することができません。	■ メモリーカードの残量がありません。	■ メモリーカードを新しいものと交換してください。 ■ 不要な画像を消去してください。 ■ メモリーカードのロックを解除してください。

問題	考えられる原因	解決法
接続したプリンターから画像を印刷できない。	■ カメラがプリンターに正しく接続されていません。 ■ プリンターがPictBridge互換ではありません。 ■ プリンターの用紙またはインク切れです。 ■ 用紙詰まりです。	■ カメラとプリンターの接続を確認してください。 ■ PictBridge互換プリンターを使用してください。 ■ プリンターに用紙を補給してください。 ■ プリンターのインクカートリッジを交換してください。 ■ 詰まっている用紙を取り除いてください。
メモリーカードの書き込み速度が遅い。	■ クラス4以下のメモリーカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。	■ ハイスピードのメモリーカード（Class 4以上）に切り替えてください。
メモリーカードに書き込むことができません。	■ メモリーカードが書き込み保護されています。	■ カードの書き込み保護スイッチをオフにしてください。
静止画、動画を保存することができません。	■ メモリーカードに保存されている画像数あるいはフォルダー数が規格数を超えています。	■ 不要な画像を消去してください。 ■ メモリーカード内にある画像をPC等へ移動して保存してください。

コダックの商標、Kodachrome、Ektachrome、Kodacolorおよびトレードドレスは、コダックのライセンスに基づき使用されます。

© 2014 by JK Imaging Ltd. All rights reserved.

JK Imaging Ltd. 1411 W. 190th Street, Suite 550, Gardena, CA 90248, USA

www.kodakpixpro.com